

体育学専攻

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH004	体育・スポーツ学分野研究法論	1	1.0	1・2	秋AB	金2	5C307	清水 諭, 坂入 洋右, 仲澤 真, 深澤浩洋, 澤江 幸則, 大熊 燦雨, 國部 雅大, 大石 純子	人文社会科学の研究にとって必要な知識基盤として、様々な研究方法論の基礎を学習する。論文執筆のために必要な手順について理解し、人文社会科学の研究法論について興味を持ち、理解するための基礎を自ら学んでいくことを目的とする。	OATP001と同一。
01EH005	健康体力学分野研究法論	1	1.0	1・2	春AB	月1	5C317	大森 肇, 西嶋 尚彦, 征矢 英昭, 武田 文, 藤井 範久, 武政 徹, 木塚 朝博, 前田 清司, 麻見 直美, 大藏 倫博	体育学における健康体力学分野の研究に必要な概念と研究方法について学び、自ら研究計画を立案できる基礎を作る。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。OATP002と同一。
01EH006	コーチング学分野研究法論	1	1.0	1・2	春AB	月3	5C317	川村 卓, 内山 治樹, 大山 卞 圭悟, 山田 永子, 渡邊 仁, 吹田 真土, 増地 克之	コーチング学の様々な研究方法に関して方法別に学ぶ。コーチングを学問として捉えるには様々な分野研究方法を学ぶ必要がある。学際的に応用できるよう、様々な角度から学習を行う。 第1回 イントロダクション: 研究方法の紹介、第2回 コーチング学研究法: チームマネジメント、コーチング原論、第3回 バイオメカニクス研究法1: 3次元動作分析法、キネマティクス、キネティクス、第4回 トレーニング学研究法: トレーニングの諸原則、体力評価、第5回 質的研究法: エピソード記述、事例、第6回 アンケートの方法: 質問紙法、多変量解析、第7回 運動学研究法: マイネル、現象学的還元、第8回 生理学研究法: 最大酸素摂取量、AT、第9回 コーチング学における統計学: 確率、基本統計量、第10回 まとめ	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。OATP003と同一。
01EH011	研究ワークショップI	7	1.0	1	秋AB	月5	5C512	坂入 洋右, 大藏 倫博, 仙石 泰雄	スポーツ・健康科学領域における研究テーマについて、受講生各自が学会等において発表するために必要な知識と方法を、講義、演習、発表練習およびディスカッションを通して学ぶ。	
01EH012	研究ワークショップII	7	1.0	2	通年	随時		坂入 洋右, 大藏 倫博, 仙石 泰雄	受講生各自が、スポーツ・健康科学領域における研究テーマについて学会等において発表するために必要な準備、発表練習、ディスカッションと指導を行い、実際に発表する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)
01EH013	研究基礎共通実習(PBL)	6	1.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		清水 諭, 片岡 千恵, 坂本 拓弥, 松井 崇, 木越 清信, 角川 隆明	スポーツ科学、体育科学にかかわる問題を自ら発見し、解決する過程をグループでの協働作業から学ぶ授業です。 授業は、チューターとしての教員と少人数の学生によって進められ、発言者の意図を理解し、グループの目的を達成するために効果的なコミュニケーションを行うことが求められます。 知識詰め込み方の教育(teaching)から知識を探求する方法を身につける教育(learning)へと展開する1stステップとなります。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH014	健康・スポーツ科学のための統計学	1	2.0	1・2	春AB 春C	水1 集中	5C317	西嶋 尚彦, 大藏 倫博	健康科学研究とスポーツ科学研究での実験と調査から得られるデータ分析の手法を実践し、数理モデルなどの理論を理解することを通して、研究データの統計分析の実践技能を養う。 基礎的および先端的な健康・スポーツ科学研究に用いる統計的分析法について概説する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。OATP012と同一。
01EH016	つくばサマインスティットウト	1	2.0	1・2	春C	集中		長谷川 悦示	筑波大学体育系と学術協定を結んでいる海外の大学と共同で企画する、英語を公用語とするプログラムである。体育・スポーツ領域にかかわる大学生・大学院生、若手研究者を対象とし、日本の体育・スポーツ文化を理解し、体育・スポーツ教育、スポーツ科学に関わる諸外国の現状と課題について情報を共有し、協力して国際的課題に取り組むグローバル人材として資質の向上を図ることをねらいとする。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH021	Olympic Movement Studies(オリンピックムーブメント論)	1	1.0	1・2	秋AB	月2		太田 圭, 澤江 幸則	オリンピックムーブメント、パラリンピックムーブメントの変容について学ぶとともに、今日的課題を解決する方途を見出し、今後のムーブメントについて模索する。具体的な内容は次のとおりである。 オリンピックムーブメントの定義、近代におけるオリンピックムーブメントの変容、日本のオリンピックムーブメント、東京2020大会のオリンピックムーブメント オリンピック・パラリンピックとアート パラリンピックムーブメント、パラリンピックの価値、日本のパラリンピックムーブメント、2020年のパラリンピックムーブメントのレガシー	筑波開設科目。 OATQ001と同一。 英語で授業。 GSI302
01EH024	International Sport Policy Studies(国際スポーツ政策研究)	1	1.0	1・2	春C	集中		清水 諭	本講義では、主に英国やヨーロッパにおける事例を紹介しながら、スポーツ政策の国際的動向について把握するとともに、それらの諸実践を分析するための理論的枠組みについて理解することを目的とする。具体的には、教員による講義および履修学生によるプレゼンテーションを通じて、開発と平和のためのスポーツ、エリートスポーツ、オリンピック・パラリンピックのレガシーなどに関わる政策を対象としながら、スポーツ政策の国際的動向と課題、そして今後の可能性について学修する。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) OATP021と同一。 英語で授業。
01EH025	Advanced Coach Education(上級コーチ教育論)	1	1.0	1・2	春AB	水2		松元 剛, 和久 貴洋, 渡部 厚一, 福田 崇	トレーニング方法、情報戦略、国際的な動向など、指導者の質保障を多面的にとらえ、指導者育成の観点からコーチ教育について考える。	筑波開設科目。 OATP022と同一。 OATP021と同一。 英語で授業。
01EH026	Management and Organization(経営マネジメント論)	1	1.0	1・2	春C	集中		山口 拓	スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。 講義では、特に開発課題に焦点化して、諸課題の特性と持続可能な平和的社会的実現に向けたスポーツの役割に関して討論形式で学ぶ。 更に、スポーツ国際開発(IDS)のマーケティング、NGOでのIDS活動、組織マネジメント理論、ケース探索と理論的適応などを議論を踏まえて検討する。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) OATP023と同一。 英語で授業。
01EH027	Project Management(プロジェクトマネジメント論)	1	1.0	1・2	秋B	集中		山口 拓	開発援助の実践力を高めるべくロジックモデルを改変された「プロジェクト・サイクル・マネジメント」に沿った計画・評価の手法を学ぶ。 ・基礎講座:国際協力のトレンド、プロジェクトのPDCAサイクル ・実践講座:ケールスタディーを用いた実践的検討:プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)、評価・モニタリング手法	GS1棟301 OATP024と同一。 英語で授業。
01EH028	JSC Seminar(JSCセミナー)	2	1.0	1・2	春C秋ABC	集中		清水 諭, 和久 貴洋, 勝田 隆	スポーツの推進に寄与するスポーツイノベーション人材を戦略的に発掘・育成する。日本スポーツ振興センターの持つ資源や事業を活用してスポーツ現場における組織間の越境学習を行い、人材育成ノウハウ、カスタマイズ型の育成プログラムを学ぶ。目標は、以下の通り。 1. 国際舞台において、「1 指導的役割(コーチング)」や「2 スポーツ事業を企画・推進する役割(スポーツアドミニストレーター)」を担う人材に求められる資質や能力を育成する。 2. グローバルかつイノベーション人材の発掘や育成、活用のために必要なシステムおよびプログラムなどについて実践的に学習する。プロジェクト会議、ワークショップ、カンファレンス企画及び開催、コンサルティング活動などを視察・支援するために不可欠な基礎知識や情報、物事の見方等を身につける。	日本語と英語による。 筑波開設科目。 OATP031と同一。
01EH029	JSC Project(JSCプロジェクト)	1	1.0	1・2	春C秋ABC	集中		清水 諭, 和久 貴洋, 勝田 隆	スポーツ界の最前線における多種多様な職務経験の機会を幅広い候補者に提供していく。日本スポーツ振興センターが保有する資源(各種受託事業、JISS、国際連携等)を活用することによって、パートナーシップ締結団体の組織の壁を越えた「越境学習」プログラムを遂行する。組織や人材の連携と協働、あるいは「スポーツ資源の開発」の基礎的経験を通して、「人の間」に入り尽力するために、自分自身の課題や将来構想のヒントを経営的な視点から整理できる能力を身につける。	日本語と英語による。 筑波開設科目。 OATP032と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH030	On the Job Practice (Domestic)	3	2.0	1	春0秋ABC	集中		清水 諭, 和久 貴洋, 勝田 隆	日本スポーツ振興センターなどのスポーツおよび国際開発に関連する組織において4週間の研修を行う。 スポーツと国際開発に関連のある組織の活動に関わることにより、実践経験を積む。各自の興味関心、ニーズや強みなどの理解し、組織における事業の特徴や経営方策などを理解する。こうした学習を通して、受講生各自がキャリアプランを構築する。	日本語と英語による。筑波開設科目。OATP033と同一。
01EH032	Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会)	1	1.0	1・2	秋AB	木1		清水 諭	スポーツ社会学における理論と実践的研究を基礎にして、スポーツを通じた国際開発と平和構築に関する批判的思考力を身に着ける。 スポーツと身体に関する具体的事例について討議を行い、権力の作用について学習する。IDS・SDPの理論について理解し、実践に関する批判的思考力を身に着ける。	筑波開設科目。OATP041と同一。英語で授業。
01EH037	Public Policy for Social Development IA (社会開発のための公共政策IA)	4	1.0	1・2					The main goals of this course are to introduce students to the major theoretical streams in public policy and policymaking, as well as explore approaches to public policy research that combine policy and political analysis. The fundamental goal of public policy is problem-solving, and that is also the main objective of the class. Together, we will explore how this goal is accomplished. We will do so by identifying the relevant policy actors and institutions, policy needs and constraints, and, ultimately, why some public policies succeed and others fail.	西暦奇数年度開講。01DF294, 01DP718, 01DR116, 01DZ540と同一。英語で授業。
01EH041	International Politics IA (国際政治学IA)	4	1.0	1・2					The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。01DP465, 01DR486, 01DZ570と同一。英語で授業。
01EH044	Olympic and Paralympic History (オリンピック・パラリンピック史)	1	1.0	1	秋AB	火1		澤江 幸則	オリンピック競技会、パラリンピック競技会の歴史について、その始まりと発展過程について今日の課題とともに学ぶ。授業計画は次のとおり。 (1) 古代オリンピックの起源と展開について、(2) ネメア競技祭の復興と展開について、(3) イギリスと近代ギリシャにおける古代オリンピック復興、(4) 近代オリンピックの展開、(5) 日本におけるオリンピック競技会の歴史、(6) ストックマンデビル競技会の創設、(7) パラリンピック競技会の創設と発展、(8) 日本におけるパラリンピック競技会の歴史、(9) 筑波大学とオリンピックの歴史。	原則として、体育学専攻所属学生のみ履修可。OAS0204と同一。英語で授業。
01EH045	Olympism and Legacy (オリンピズムとレガシー)	1	1.0	1	秋AB	木2		深澤 浩洋	オリンピズムとオリンピック・レガシーについて、それらの意義を学ぶとともに、今後の国や地域等に応じたレガシーのあり方を考え、これからのオリンピック・レガシーについて構想することを通じてオリンピズムを反映したレガシーに対する洞察を持つことを目指す。 オリンピズムの要諦を確認したのち、オリンピック・レガシーが言及されるようになった契機やその具体的な導入の経緯等を講ずる。それらを踏まえて、スポーツメガイメントの実態を調査し、レガシーの理念を反映したアクションを構想し、プレゼンテーションを行う。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。OATQ209と同一。英語で授業。GS1302
01EH046	Sport Organisation and Governance (スポーツ組織とガバナンス論)	1	1.0	1	秋ABC	集中		齋藤 健司	主に国際スポーツ競技連盟(IF)や国内スポーツ競技連盟(NF)で働く実務家をゲスト講師として招き、IFやNFの組織構造やそこの業務について実務レベルでその内容を理解するとともに、国内外のスポーツ組織に関わるステークホルダーの役割と責務を把握することを目的とする。また、専門家による講義を通じて国際オリンピック委員会(IOC)が提唱するステークホルダー間の相互作用に注目しながら、「オリンピックムーブメント」を展開するシステム及びスポーツ界のガバナンスのグローバル・モデルについて議論する。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。OATQ210と同一。英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH047	International Sport Marketing, Sponsorship and Media Management (国際スポーツマーケティング、スポンサーシップ、そしてメディアマネジメント)	1	1.0	1	秋ABC	集中			スポーツマーケティング、スポンサーシップ、スポーツメディアの各分野において国内外で活躍する実践家をゲスト講師として招き、北米、ヨーロッパ、アジア、日本における事例を踏まえながら、1)スポーツマーケティングに関する歴史的背景、2)スポーツマーケティングの目的と基本的なシステム、3)マーケティングの具体的な実践方法、4)スポーツマーケティングに重要なメディアの諸権利、5)スポーツに関するメディアの歴史と技術革新、及びそのマネジメント方法、について学ぶことを目的とする。新任教員担当予定。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 OATQ211と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH048	Sport Finance and Economics (スポーツファイナンスと経済学概論)	1	2.0	1					国際競技連盟ほかスポーツの組織や国際スポーツイベントに関する財務について、資金調達や会計などに関する理論と実務について学修する。また、スポーツ産業やスポーツビジネスを経済学の視点から分析・考察し、国や地域における経済的影響、及びリーグやイベントに対する経済学的視点について学修する。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可 英語で授業。 2020年度開講せず。
01EH050	Anti-Doping (アンチ・ドーピング)	1	1.0	1	秋ABC	集中		渡部 厚一	スポーツ界におけるドーピングの歴史と規程や国際基準からなる世界アンチ・ドーピング機構によるアンチ・ドーピングプログラムの概要、日本で展開されているアンチ・ドーピングの全体像を紹介する。また、各国が行っているアンチ・ドーピングプログラムや近年生じているドーピング問題を題材として、スポーツのインテグリティやフェアネスに対する考え方を理解したうえで、国際比較などからアンチ・ドーピングプログラムが抱える課題やあるべき未来像を考察する。	原則として、体育学専攻所属学生のみ履修可。 OATQ004と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH051	Taiku (Physical Education) (体育)	1	1.0	1	春AB	月3		松尾 博一	このコースでは、理論と実践の観点からスポーツ教育学や体育教育に関する今日的課題について概説し、考察していく。特に、日本国内における課題として、部活動などの運動部活動の適切なあり方や教師教育について、また、国際的な文脈の中での体育の課題、つまり教育システムが異なる環境で育ってきた人たちにどのように体育の内容を整理して教授するか、ということと言語の問題と合わせて学修する。さらに後半では、選定した体育理論を実践的な指導の場面に適用することを学修する。	原則として、体育学専攻所属学生のみ履修可。 OATQ008と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH052	Japanese Culture (日本文化)	1	1.0	1	秋ABC	火5.6		江上 いずみ	日本における礼儀、日本食、祭り、和服や書道を通して、日本文化としてのおもてなしの心やマナーについて学習する。それらと欧米などのマナーについて比較し、それぞれの文化に基づく多様なマナーがあることを学修する。また、日本における名刺交換や面談時のマナーなど、ビジネスマナーについても修得する。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 OATQ005と同一。 英語で授業。
01EH054	Seminar in Olympic and Paralympic Education I (オリンピック・パラリンピック教育演習 I)	2	2.0	1	秋ABC	随時		澤江 幸則、深澤 浩洋	オリンピック・パラリンピック教育を専門とする指導教員(148 深澤浩洋、266 澤江幸則)のもと、各自の研究計画に基づき、オリンピック・パラリンピック教育に関する先行研究を整理し、文献研究や実務的研究を行うことでオリンピック・パラリンピック教育に関する研究計画を深める。また、実際に各国で行われているオリンピック・パラリンピック教育についての情報を集める。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 OATQ201と同一。 英語で授業。
01EH055	International Sport Event Management (国際スポーツイベントマネジメント論)	1	2.0	1	春B	集中		高橋 義雄、イ チュンミ	スポーツイベントを開催するスポーツ施設について、その歴史の変遷、現在の構造と機能、経営方法について学修する。また、国際的なスポーツイベントを招致し、準備、開催に至るプランニング、組織づくり、人材配置、さらにリスクマネジメントについて、事例をもとにして学ぶ。さらに、オリンピック・パラリンピックに必須のボランティアに関するマネジメントについて事例をもとに学ぶ。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 英語で授業。 6/8-12
01EH056	Sport and Gender (スポーツとジェンダー)	1	1.0	1	春AB	集中		清水 諭	スポーツに関わるジェンダー問題の理論と実践について、その課題と問題点を事例を挙げながら考える。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 英語で授業。 5/29-30 and 6/15 GS1302

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH057	Olympic and Paralympic Education(オリンピック・パラリンピック教育)	1	1.0	1	春AB	水2		澤江 幸則, 田 暁潔, 真田 久, Lyras Alexis	この授業を通して、日本や他の国々におけるオリンピック教育やパラリンピック教育の展開について学ぶとともに、東京2020年以降も持続可能発展的に継続されるようになるにはどうしたら良いかを考える。特に日本においては、1964年東京大会時におけるオリンピック学習、1998年長野冬季大会における一校一國運動、2020年東京大会におけるオリンピック・パラリンピック教育の内容と展開、さらにこれらの教育を通して形成される人材像について学修する。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 OATQ007と同一。 英語で授業。
01EH058	Sport Technology and Biomechanics(スポーツ工学とバイオメカニクス)	1	1.0	1	春AB	木5		高木 英樹, 西保岳, 小池 関也, 藤井 範久, 藤井 直人, 藤本 雅大	スポーツ工学とそれに関連するバイオメカニクスの背景と最新の情報の習得に向けて、スポーツに関連した空気や水中での流体工学、スポーツ用具開発のための基礎知識、スポーツ用のウェア開発のための基礎知識を学ぶ。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 OATQ212と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH059	Sport Medicine(スポーツ医学)	1	1.0	1	春学期	随時		渡部 厚一, 森 利雄, 金森 章浩	スポーツ活動中に生じる外傷、障害、内科的問題の診断・治療・リハビリテーション、年齢や性差による特徴、スポーツマサイメントにおける突然死等のアクシデントと救護活動の実際について科学的知見のみならず、スポーツ行政や政策、マサイメント運営の視点から解説し、スポーツ活動におけるスポーツ医学の役割について学ぶ。また、アスレティックリハビリテーションやコンディショニングの最新情報やあんま、鍼灸などの東洋医学のスポーツ医学への応用についても紹介する。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 OATQ213と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH061	Seminar in Sport Management I(スポーツマネジメント演習 I)	2	2.0	1	秋ABC	随時		齋藤 健司	スポーツマネジメントを専門とする指導教員のもと、教員による話題提供及び国内外の事例に関する研究の紹介を交えながら、スポーツマネジメントに関わる研究方法について学ぶ。また、履修学生の課題に応じたスポーツマネジメント関連の研究論文を購読し、その内容についても批評的にまとめて発表し、ディスカッションしながら研究テーマを深めていく。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 OATQ203と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH062	Seminar in Sport Science and Medicine I(スポーツ医科学演習 I)	2	2.0	1	秋ABC	随時		西保 岳, 高木 英樹, 渡部 厚一, ラクワール ランディープ	スポーツ医科学を専門とする指導教員のもと、研究論文の作成に必要なスポーツ医科学の論文構成方法などについて学習する。また、必要な実験計画や方法について少人数にてディスカッションし、研究を遂行する上で必要な能力を身に付ける。 論文作成に必要な、スポーツ医科学に関する研究方法論の基礎的な知識と技能を身につけ、実験計画、データ処理等の専門的な知識を身につける。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 OATQ205と同一。 英語で授業。
01EH069	Public Policy for Social Development IB(社会開発のための公共政策IB)	4	1.0	1・2					The main goals of this course are to introduce students to the major theoretical streams in public policy and policymaking, as well as explore approaches to public policy research that combine policy and political analysis. The fundamental goal of public policy is problem-solving, and that is also the main objective of the class. Together, we will explore how this goal is accomplished. We will do so by identifying the relevant policy actors and institutions, policy needs and constraints, and, ultimately, why some public policies succeed and others fail.	西暦奇数年度開講。 01DF295, 01DP719, 01DR117, 01DZ542と同一。 英語で授業。
01EH072	International Politics IB(国際政治学IB)	4	1.0	1・2					The main purpose of this course is to provide students with an overview of issues and topics related to the information society in the world in general and Japan and south-east Asia in particular.	西暦奇数年度開講。 01DP466, 01DR487, 01DZ571と同一。 英語で授業。
01EH078	TIAS Internship IB(TIASインターンシップ IB)	6	4.0	1	春C夏季休業中	随時		田 暁潔	4週間のインターンシップ先を決定し、スポーツ組織や競技大会などの現場における実践的知識を学びながら、キャリアパスの構築につなげる。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 英語で授業。
01EH079	TIAS Internship IIB(TIASインターンシップ IIB)	6	2.0	1	春C夏季休業中	随時		田 暁潔	スポーツ組織や競技大会などの現場における実践的知識を学びながら、キャリアパスの構築につなげる。 TIAS インターンシップ IAあるいはIBの履修者を対象にする。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH080	Exercise Physiology and Human Performance (運動生理学とヒューマンパフォーマンス)	1	1.0	1	春AB	月6		小野 誠司, 西保岳, 前田 清司, ラクワール ランディープ, 松井 崇, 藤井 直人	ヒューマンパフォーマンスに関連する運動生理学的背景と最新の動向を修得するために、呼吸循環や体温調節に関する生理学知識、動体視力等に関連した神経生理学、運動によって変化する脳機能、運動習慣に関連した血管機能変化、ヨガ等の東洋的身体技法の生理学的効果について学ぶ。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 0ATQ214と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH081	International Relations (国際関係論)	1	1.0	1	春B	集中		山口 拓, 小川 秀樹	この授業では、スポーツと国際関係について事例を挙げながら理解し知識を得ます。スポーツと政治、スポーツと外交政策、スポーツ外交、スポーツと平和(スポーツを通しての国際協力と平和)をテーマにして学びます。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 英語で授業。 6/3-6/5 GS1302
01EH082	Elite Sport Coaching (エリートスポーツコーチング論)	1	1.0	1	秋ABC	随時		仙石 泰雄	一流競技者のパフォーマンス向上に関するコーチング、トレーニング理論及び方法を学び実践する。特に、高強度トレーニング、ファンクショナルトレーニングの処方にあて、様々な最新トレーニング用具を活用する方法について学習し、特定の運動種目を対象としたトレーニングプログラムを作成する。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 0ATQ215と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH083	Budo (武道)	5	1.0	1					本授業では、学生は、茨城県鹿嶋市への1泊2日のスタディーツアーに参加します。そこで、現代武道と古武道についての視察学習(一部体験あり)します。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 英語で授業。 2020年度開講せず。
01EH084	Seminar in Olympic and Paralympic Education II (オリンピック・パラリンピック教育演習 II)	2	2.0	1	春ABC	随時		澤江 幸則, ハギスディヴィナ ベネロビ, 真田 久, Lyras Alexis	オリンピック教育、パラリンピック教育を専門とする指導教員のもと、オリンピック教育やパラリンピック教育に関する先行研究を検討し、研究論文を書くための文献資料をまとめ、それについて発表しディスカッションする。合わせて、プレゼンテーションの能力を向上させる。毎回プレゼンテーションを行い、オリンピック・パラリンピック教育の論文としてふさわしい要素を備えるようにする。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 01EH054を履修した者に限る。 0ATQ202と同一。 英語で授業。
01EH085	Seminar in Sport Management II (スポーツマネジメント演習 II)	2	2.0	1	春ABC	随時		イ チュンミ, 高橋 義雄	本演習では、スポーツマネジメントを専門とする指導教員のもと、履修学生による各自の研究テーマに基づいた最終課題研究論文に関する進捗状況についてプレゼンテーションを行い、スポーツマネジメントに関わる研究について議論を行う。加えて、適宜、日本国内のスポーツイベント、スポーツ関連団体に関するフィールドワークを行い、スポーツマネジメントの現場における現状と課題について把握するとともに、その課題の解決策について討論する。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 01EH061を履修した者に限る。 0ATQ204と同一。 英語で授業。 GS1302
01EH086	Seminar in Sport Science and Medicine II (スポーツ医学演習 II)	2	2.0	1	春ABC	随時		西保 岳, 高木 英樹, 渡部 厚一, ラクワール ランディープ	スポーツ医学を専門とする指導教員のもと、受講生それぞれが取り組んでいる研究論文のプレゼンテーションを行い、スポーツ医学の方法論の視点からディスカッションする。一人一人の研究上の課題について検討し、より良い研究論文になるようディスカッションを行う。必要な実験計画や方法についてもディスカッションしながら検討する。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 01EH062を履修した者に限る。 0ATQ206と同一。 英語で授業。
01EH087	Seminar in Sport for Development and Peace II (開発と平和のためのスポーツ演習 II)	2	2.0	1	春ABC	月1 随時		清水 諭, 山口 拓, 田 暁潔	Simon Darnell, Sport for Development and Peace: A Critical Sociology, Broomsbury, 2012を読み解きながら、権力に関する理論を踏まえつつ、IDS・SDPの理論と実践について批判的思考を構築する	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 01EH063を履修した者に限る。 英語で授業。 GS1302
01EH088	Seminar in Teaching, Coaching and Japanese Culture II (ティーチング、コーチングと日本文化演習 II)	2	1.0	1	春AB	火4		大石 純子, 仙石 泰雄, 松尾 博一	この演習では、ティーチング、コーチングと日本文化演習 Iで選択した指導教員の指導に基づいて、知識を拡充し問題を特定していく。そして、研究課題を設定し、研究計画を立案して、データの収集と処理を行っていく。さらに、自らの研究についてのプレゼンテーションを実施する。	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 01EH064を履修した者に限る。 GS1302 英語で授業。
01EH089	TIAS Research Project (TIAS課題研究)	8	4.0	2	秋ABC	随時		TIAS課題研究指導教員	Students will conduct their own research project based on one of the research majors as below, and will write a final report. 1) Olympic and Paralympic Education 2) Sport Management 3) Sport Science and Medicine 4) Sport for Development and Peace 5) Teaching, Coaching and Japanese Culture	スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH091	Sport Finance and Economics 2.0 (スポーツファイナンスと経済学概論2.0)	1	1.0	1	秋B	集中			国際競技連盟ほかスポーツの組織や国際スポーツイベントに関する財務について、資金調達や会計などに関する理論と実務について学修する。また、スポーツ産業やスポーツビジネスを経済学の視点から分析・考察し、国や地域における経済的影響、及びリーグやイベントに対する経済学的視点について学修する。	原則として、スポーツ・オリンピック学学位プログラム所属学生のみ履修可。英語で授業。
01EH092	Economics of Development in Asia II (アジアにおける開発経済学II)	1	2.0	1・2	春AB	水3,4			本講義は、アジア経済特に東南アジア経済の発展構造を学習することを目的とする。アジアは多数の低所得国やいくつかの発達した経済という多様性を含んでおり、経済分野において、開発課題と地域統合という2つ課題が顕著である。そこで、開発経済学(アジア)は、アジア地域における経済開発実績と課題に焦点を当てる。	筑波開設科目。西暦偶数年度開講。英語で授業。
01EH096	TIAS Research Project II (TIAS課題研究II)	8	4.0	2	春ABC	随時		TIAS課題研究指導教員	学生は、以下のような研究専攻の1つに基づいて独自の研究プロジェクトを実施し、最終報告書を作成します。 1) オリンピック・パラリンピック教育 2) スポーツマネジメント 3) スポーツ医科学 4) 開発と平和のためのスポーツ 5) ティーチング、コーチングと日本文化	Only for students who belong to Master's Program in Sport and Olympic Studies. 英語で授業。
01EH097	Research Project Management III (研究プロジェクトマネジメントIII)	1	1.0	1	春AB	木2		田 暁潔	This course introduces research methods that related to the research activities in TIAS program practically. The basics of different methods in historical, experimental and filed/descriptive research will be introduced. Following it, experts in various research fields will be invited to talk about their research topic and their professional experience in data collection and analysis.	In principle, only for students who belong to Master's Program in Health and Sport Sciences. 英語で授業。(1st + 2nd periods, when 2 weeks are joined together)
01EH105	体育史・スポーツ人類学演習I	2	3.0	1	春C 春AB秋A	集中 火5		大熊 燦雨, 山口 拓	自身の研究したいテーマに基づき、体育・スポーツ史およびスポーツ人類学(スポーツ国際開発学会含む)に関する論文を以下の学術雑誌あるいは学術書「スポーツ人類学研究(スポーツ人類学会機関誌)、スポーツ史研究(スポーツ史学会機関誌)、体育史研究(体育史学会機関誌)、体育学研究(日本体育学会機関誌)」から選び、その研究論文の内容、研究方法について検討する。 研究方法については、史料批判を含め文献研究の方法論について検討する。また特定の地域のスポーツ文化に関する参与観察の方法論についても考察し、それらについて発表してディスカッションする。より良い発表の方法についても修得する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP7B1と同一。
01EH111	スポーツ社会学演習I	2	3.0	1	通年	随時		清水 諭	スポーツ社会学に関する専門文献、研究論文の講読を、スポーツ社会学を研究するための基本的能力を身に着ける。スポーツ、体育、舞踊そして伝統スポーツにおける身体の歴史と政治推力についての文献資料を用いる。また、フィールドワークを通して、スポーツ社会学の基本的な研究能力を向上させる。	OATP7C1と同一。
01EH119	スポーツ経営学	1	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		清水 紀宏	体育・スポーツの推進に相応しいスポーツ経営の考え方、及び経営組織と事業運営について解説する。まず、各組織体のスポーツ経営に直接・間接的に多大な影響を及ぼすスポーツ関連法および国のスポーツ政策(スポーツ基本計画2000、スポーツ基本法2011、スポーツ基本計画2012等)について批判的に検討した上で、スポーツ経営の現代的課題とその解決に向けた経営方略を概説する。次に、スポーツ関連法及び政策の理解を基に、学校体育と地域スポーツが直面している経営課題を整理し、この領域におけるスポーツ事業や経営過程をめぐる実態と課題について検討する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開講する(応談)。 OATP101と同一。
01EH126	スポーツ法学演習	2	2.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		齋藤 健司	国内及び国外のスポーツ法に関する動向を調査検討し、現状の認識を深めるとともに、スポーツ法学に関する文献資料を購読し、研究の方法や理論に関する理解を深める。スポーツ法に関する動向についていくつかのトピックを紹介する。スポーツ法学に関する国内外の基本的な文献および資料の中から課題を選定し、報告発表を行い、全体で議論する。さらに、課題と関連する法学文献の理論内容を検討する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開講する(応談)。 OATP7F3と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH128	スポーツ産業学演習I	2	3.0	1	春AB秋A 秋C	水1 水2,3	5C412	仲澤 眞, 嵯峨 寿	スポーツ産業研究に必要な理論や実務的な知見について学ぶとともに、当該領域の研究手法論について学習する。本授業はいずれの回においても複数指導体制(299 仲澤眞、257 嵯峨寿)で行い、主要先行研究の解説、主要な研究方法論の解説、研究計画の立案についての指導を通して、学位論文の作成に必要な基礎的な内容の習得を目的とする。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP7G1と同一。
01EH135	アダプテッド体育・スポーツ学演習I	2	3.0	1	春AB 秋ABC	月1,2 集中	球技体育館	齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	アダプテッド・スポーツ科学に関する文献を購読するとともに、アダプテッド・スポーツ現場を体験し、研究の動向と課題について議論する。	春AB教室:球技体育館 OATP7J1と同一。
01EH137	体育心理学演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋 ABC	集中 火4		坂入 洋右, 國部 雅大	体育心理学の研究法に関する講義と体験的学習を通して、スポーツ・体育心理学領域における研究の実際を知り、心理学的研究法に関する理解を深める。また、海外の文献を読んで実際の研究を理解し、各自の問題意識に基づいて研究計画を立てる。本演習を通して、スポーツ・体育心理学領域における諸問題を解決するための研究遂行能力の基礎を身につける。	教室:5C311(心理実験実習室1) OATP7K1と同一。
01EH142	運動学習心理学	1	1.0	1	秋AB	月4	5C406	國部 雅大	人間の運動学習(Motor Learning)と運動制御(Motor Control)について、知覚-運動統合の過程を中心に学ぶ。	AT必修科目
01EH143	健康・スポーツ科学のための英語上級	2	1.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		ラクワール ラン ディープ	体育並びにスポーツ科学に関連した、より高度な英語の読解力並びに表現力を身につける。 (Objective of this course is to improve writing listening, and speaking ability in English in Physical Education and Sport Science at an advanced level.)	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。英語で授業。
01EH144	体育・スポーツ学特別演習	0	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		清水 紀宏	社会人特別選抜入学者で体育・スポーツ学分野の学生の必修科目	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。社会人に限る14条特例対応科目
01EH145	体育・スポーツ学特別演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		清水 紀宏	年度途中で修了する体育・スポーツ学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。スポーツに関する国内外の専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く学習し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論を深め、修士学位論文を作成する。自分自身のテーマを決定し、研究遂行する。	年度途中で修了予定者のみ履修可 OATP7M2と同一。
01EH151	体育・スポーツ哲学演習I	2	3.0	1	通年	随時		坂本 拓弥, 深澤 浩洋	体育哲学およびスポーツ哲学における研究方法について理解を深め、文章の解釈力や洞察力の涵養を目指す。併せて、修士論文のテーマを掘り下げ、研究計画として結実させる。関連文献の講読を行い、問題設定の仕方や研究方法論についての理解を深める。 演習の前半では、体育・スポーツ哲学の基礎的な文献を講読する。選定する文献は、受講者の研究テーマに基づいて定めるが、形而上学、実践学、倫理学、美学などの大枠に沿ったものとする。 後半では、受講者の研究テーマに対して、先行研究に当たる文献のテキストクリティークを行う。	OATP7A1と同一。
01EH152	体育・スポーツ哲学演習II	2	3.0	2	通年	随時		深澤 浩洋	体育哲学およびスポーツ哲学に関連する研究課題、問題群における理路や問題の背景等を理解し、受講者自身の問題意識を掘り下げ明確化することを目指す。 文献(論文や著書)のうち、受講者の研究テーマに関連するものについて、概要をまとめ、報告・議論を行う。それとともに、受講者自身のリサーチクエスションとそれを解決する方法を探り、その方法に則って思索を深め、論じてゆく。 また、受講者同士でディスカッションを行い、説得力ならびに質問力を養う。	OATP7A2と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH154	体育史・スポーツ人類学演習Ⅰ	2	3.0	2	通年	随時		山口 拓,大熊 燦 雨	自身の修士論文のテーマを意識して、それに関連する体育・スポーツ史、スポーツ人類学およびスポーツ国際開発学に関する論文を外国の学術雑誌や学術書から選び、その研究方法と論文の構成について検討する。諸外国の学術雑誌は主に「International Journal of Sport History」、「Journal of Sport for Development」の中から選択する。 これらを先行研究とし、その批判的なまとめを各自が作成して発表し、ディスカッションする。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP7B2と同一。
01EH156	スポーツ社会学演習Ⅱ	2	3.0	2	通年	随時		清水 諭	社会学の理論を基礎にしながら、スポーツ社会学を研究するための研究方法論について学習し、論文執筆を自主的、自立的に行っていく。その際、学生や教員との議論を繰り返し、応答の中で、自らの立ち位置と思考を深めていく。こうした演習を通して、研究力を向上させ、論文執筆を行う	OATP7C2と同一。
01EH157	身体文化論演習	2	1.0	1	春AB	月2		清水 諭	身体とその文化を掘り所にして、文化と社会に関する理論を検討する。その中で、人種、民族、ジェンダー、セクシュアリティ、階級、ナショナルリティと、アイデンティティ、ライフスタイル、社会変動、そして社会運動について考える。	01DR348と同一。
01EH158	体育社会学演習	2	1.0	1	秋AB	月2		清水 諭	学校、都市、スタジアム、祝祭空間における身体の近代とその変容について、身体とその文化に関する理論書を読み、議論する。	02DML07と同一。
01EH159	武道学演習Ⅰ	4	3.0	1	春AB秋AB 秋C	水1 集中	5C411	酒井 利信	武道学全体を鳥瞰図的に把握し、先行研究を広く学習することにより、修士論文のテーマ設定をする。	
01EH160	武道学演習Ⅱ	4	3.0	2	通年	随時		酒井 利信	武道学における文献学的研究方法論を学び、具体的史料にあたりつつ、修士論文作成のための学習をする。	
01EH161	体育・スポーツ経営学演習Ⅰ	6	3.0	1	春AB 秋AB	金3,4 金3	5C403	清水 紀宏	体育・スポーツ経営学に関する内外(外国は主にアメリカ合衆国を中心に)の文献を講読しながら、経営理論の動向及び方向性を検討する。	
01EH162	体育・スポーツ経営学演習Ⅱ	6	3.0	2	通年	随時		清水 紀宏	体育・スポーツ経営をめぐるトピックスや具体的な経営課題を取り上げ、関連する文献や論文を収集するとともに、研究の視座や課題解決の方法について議論し、研究論文としてまとめる。	
01EH163	スポーツ政策学演習Ⅰ	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		齋藤 健司,成瀬 和弥	国内及び国外のスポーツ政策及びスポーツ政策研究に関する動向について調査検討し、スポーツ政策の実務的な課題を理解するとともに、スポーツ政策学に関する内外の文献を購読し理論的な認識を深める。スポーツ政策に関する特定の調査研究課題を議論し、決定した後、各自の課題に関して報告発表を行い、全体で議論する。また、関連する文献を選定し、概要をまとめ報告し、全体で当該文献の理論の検討及び批判を行い、議論する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP7F1と同一。
01EH164	スポーツ政策学演習Ⅱ	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		齋藤 健司,成瀬 和弥	スポーツ政策に関する各自の研究テーマに関する文献及び資料の収集・批判及び検討、研究方法論及び分析の枠組みの検討を行い、実際の調査研究の成果を発表し、議論を深める。まず、研究テーマに関する先行研究の検討、援用する研究方法・理論のレビューを行い、分析の枠組みとして応用可能か議論する。また、実際に選定した方法論に基づき、研究テーマに関する調査内容を発表し、議論する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP7F2と同一。
01EH167	スポーツ産業学演習Ⅱ	7	3.0	2	通年	随時		仲澤 眞,嵯峨 寿	研究テーマの設定、先行研究のレビュー、研究の意義、研究の方法等、修士論文の作成に必要な研究指導を行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)
01EH168	体育科教育学演習Ⅰ	2	3.0	1	秋C 春AB秋 ABC	集中 水3	5C212	長谷川 悦示,佐藤 貢弘	体育科教育学の知見を踏まえ、関心をもったテーマに即して研究デザインについて検討する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01B9072と同一。
01EH169	体育科教育学演習Ⅱ	2	3.0	2	通年	随時		長谷川 悦示	自ら設定した研究デザインに即して収集したデータの分析並びに考察方法について学習する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH170	体育授業観察分析演習	2	2.0	1	春AB	随時	5C212	長谷川 悦示	体育授業の観察法に関する基礎的知識を習得する。また、実際の授業を計画立案して観察法を分析し、その活用方法について理解することを学修する。 受講者はガイダンスにつづいて、数回の授業案検討会を行い、授業グループに分かれて教材研究、授業計画案を討議・作成し、模擬授業のリハーサルを行う。模擬授業は、筑波大学内体育施設(中央体育館等)で実施し、その後最終反省会を行う。 また、受講者はe-Learning授業評価システムを活用して模擬授業動画を視聴しながら授業省察を学修することを最終課題として学修する。	受講者は、第1回オリエンテーション(4月15日(月)17時-、5C212)に出席すること。 OATP7H3と同一。
01EH172	アダプテッド体育・スポーツ学演習II	2	3.0	2	通年	随時		齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	アダプテッド・スポーツ科学に関する文献を購読するとともに、アダプテッド・スポーツ現場を体験し、研究の動向と課題について議論し、アダプテッド体育・スポーツ学についての論文指導を行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP7J2と同一。
01EH174	体育心理学演習II	2	3.0	2	通年	随時		坂入 洋右, 國部 雅大	体育・スポーツ心理学関連の学術雑誌から関心のある掲載論文を受講生自身が探し出し、抄録を作成して発表し、研究課題等について討議する。本演習を通して、関連テーマの理解および研究論文作成の方法を学ぶ。また、修士論文作成に繋がるよう各自の研究課題を具体化し、実際に研究を遂行する取り組みを行う。	OATP7K2と同一。
01EH175	体育心理学実習	7	2.0	1	春AB秋AB 通年	火5 集中		坂入 洋右, 國部 雅大	スポーツにおけるセルフコントロール、性格の診断法、知覚運動学習の基本的実験研究法を、実践・実験実習、データ分析、発表、レポート作成を通して学ぶ。	教室:5C311(心理実験実習室1)
01EH201	健康教育学演習I	2	3.0	1	春AB秋 ABC	応談		武田 文, 片岡 千恵, 門間 貴史	国内及び国外の健康教育に関する文献資料を購読することを通して、健康教育研究に関する動向を検討し、その理論や研究方法等の理解を深める。また、健康教育に関して、いくつかのトピックを紹介する。さらに、国内外の文献の中から課題を選定し、その報告・発表を行い、全体で議論する。本授業は、研究テーマの設定、仮説の設定、研究方法論の検討、研究倫理の手続き等、論文の作成に必要な基本的な内容を習得することを目的とする。本授業は複数指導体制(100 武田 文、441 片岡千恵、519 門間貴史)で行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP8A1と同一。
01EH204	保健社会学	1	1.0	1	秋AB	金3		武田 文, 門間 貴史	健康の概念に関する医学モデルと社会モデルの各理論、健康づくり、健康増進および健康の社会的要因に関する基本パラダイムを学ぶ。また超少子高齢社会における公衆衛生の基本戦略、親子保健・老人保健の各領域における直近の健康課題とそれに対応する各種の法制度・政策・サービスの現状を理解する。	教室:総合研究棟D117 OATP210と同一。
01EH205	環境保健学演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋 ABC	集中 水3	5C618	本田 靖	スポーツ活動や生活行動への環境の悪影響に関する研究の最前線について考究する。	
01EH207	運動生理学演習I	2	3.0	1	春AB 秋AB	火2 火1,2	5C504	西保 岳, 武政 徹, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環系の下記のキーワードに関連した最新情報を理解するために、研究論文等の議論や発表を行う。1年次対象である。 骨格筋系のキーワード:分子運動生理学、筋肥大、筋持久力増強、筋萎縮、サプリメント、ヒトの実験系、動物実験系、培養骨格筋細胞、初代培養細胞、ミュータント、遺伝子、転写産物、蛋白質、シグナルカスケード 呼吸循環系のキーワード:運動トレーニングによる呼吸循環系の適応、暑熱と低酸素に対する適応、水分調節	OATP8C1と同一。
01EH212	運動生化学演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋 ABC	集中 金6	5C412	征矢 英昭, 大森 肇, 岡本 正洋, 松井 崇	演習。運動生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、運動生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に付ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関して運動生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP8D1と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01EH216	運動栄養学演習I		2	3.0	1	春AB秋A 秋C	月4 月1.2	5C117	麻見 直美, 下山 寛之	競技力を高めるための、および健康の維持増進のための食事とトレーニング、睡眠(休養)の組み立て方を理解するために、栄養(食生活)、身体活動(運動)・トレーニング、休養(睡眠)をメインkey wordsとする基礎研究で、主にエネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、たんぱく質代謝、骨代謝・カルシウム代謝、カルシウム以外のミネラル代謝、水分代謝に関連するスポーツ・運動栄養学領域の主に英語を使用言語とする最近の総説、原著論文等を精読し、その内容について議論する。	教室:5C117(多目的実験・実習室I 運動栄養学) OATP8E1と同一。
01EH218	スポーツ栄養学実験実習		3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		麻見 直美	スポーツ栄養学領域の調査、実験を行うに必要な知識と技術を、実験・実習を通して学習する。それぞれの履修者のこれまでの学習背景、現在からこれからの研究領域を考慮して、履修者それぞれの知識ニーズに個別に対応した課題設定を行って実施する。	教室:5C117(多目的実験・実習室I 運動栄養学) OATP311と同一。スポーツ栄養学特講受講者に限る
01EH223	健康増進学演習I		2	3.0	1	秋C 春AB秋A ABC	集中 火6	5C502	大藏 倫博	人体の形態、運動機能、体力・運動能力等の発達・加齢変化に関する測定評価法、トレーニング法、統計解析法などに関する内外の文献を討議する。学習目標は、健康、体力の維持、増進に及ぼす運動の効果、加齢の影響などに関する国内外の文献を討議し、同時に修士論文の研究手法、内容について理解を深める。第1回~10回は成人を対象とした健康・体力に関する論文抄読、第11回~20回は運動と健康・体力に関する論文抄読、第21回~30回は身体活動と健康・体力に関する論文抄読をおこなう。	manabaを用いて夏季休業中に開講する。OATP8G1と同一。
01EH227	内科系スポーツ医学演習I		2	3.0	1	通年	木5		前田 清司, 渡部 厚一, 中田 由夫	内科系スポーツ医学領域に関連する英語文献(研究論文)を抄読・紹介し、研究の背景、研究目的、研究方法、研究結果、研究結果の解釈、考察などについて討議することで、内科系スポーツ医学領域の研究についての基礎的な理解を深める。また、内科系スポーツ医学領域の研究論文を抄読・紹介することで、研究に関連する新たな情報を得ることも目標とする。さらに、英文論文を抄読・紹介することにより、英語力の向上を目指すとともに、英文論文の構成の基礎などについても学ぶ。	教室:総合研究棟D115 OATP8J1と同一。
01EH230	スポーツ医学基礎論特講I		1	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		前田 清司, 渡部 厚一, 竹越 一博, 中田 由夫	スポーツ医学(内科系)の基礎として、健康の維持・増進および疾患の予防・治療における運動の効果について解説する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。OATP8J3と同一。
01EH235	アスレティックコンディショニング論演習		2	3.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		竹村 雅裕, 白木 仁, 向井 直樹, 福田 崇	競技力向上を目的としたコンディショニングやトレーニングを実践し、パフォーマンスに関わるスポーツ傷害予防やコンディショニングの方法についてグループで実習を行う。	AT必修科目 OATP415と同一。AT必修科目
01EH236	アスレティックリハビリテーション論演習		2	3.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	スポーツ傷害からの早期復帰に必要な知識を駆使して、アスレティックリハビリテーションプログラムを作成できるようにする。	AT必修科目 OATP416と同一。AT必修科目
01EH237	アスレティックコンディショニング論特講		1	2.0	1	秋AB	月5.6	5C302	竹村 雅裕, 白木 仁, 久賀 圭祐, 向井 直樹, 渡部 厚一, 福田 崇, 金森 章浩	競技力向上を目的としたスポーツ傷害予防やコンディショニングの課題と方法論を多面的に解説する。	AT必修科目 OATP410と同一。AT必修科目
01EH238	アスレティックリハビリテーション論特講		1	2.0	1	春AB	月5.6	5C317	白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇, 金森 章浩	スポーツ選手が傷害から復帰するために必要なリハビリテーションの基本を学習する。	AT必修科目 OATP411と同一。AT必修科目
01EH239	スポーツ医学基礎論特講II		1	1.0	1・2	春AB	木1	5C404	向井 直樹, 金森 章浩	運動による運動器の変化について、骨組織の形態、骨代謝と軟骨代謝の生化学マーカー、軟骨組織の3回に分けて解説する。いずれも自身や研究室で実験した結果を基にしており、運動負荷による変化をどのように把握できるかに重点を置いた構成としている。	AT必修科目 OATP8K3と同一。AT必修科目
01EH240	女性スポーツ医学論特講		1	1.0	1	秋AB	水2	5C317	向井 直樹, 渡部 厚一	月経の調節機構と加齢による変化、妊娠による身体機能の変化と胎児の発育を学ぶ。激しいスポーツ活動に起因する月経異常の発現機転を理解する。また、妊婦のスポーツ活動が母体および胎児に及ぼす影響を理解する。	AT必修科目 OATP404と同一。AT必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH242	スポーツバイオメカニクス演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		藤井 範久, 小池 関也	スポーツバイオメカニクスに関する国内外の文献を購読し、現在のスポーツバイオメカニクス分野の研究課題などについてディスカッションする。また、修士論文に関する実験・データ分析の進捗状況を学会形式で発表し、教員、同じ研究領域の大学院生とディスカッションを行うことで、研究を進めていく上での課題を明確にするとともに、スポーツバイオメカニクス領域に関する幅広い知見を身につけることを目標とする。	教室:SPEC(体育総合実験棟) OATP8M1と同一。
01EH243	応用解剖学演習I	2	3.0	1	秋C 春AB秋 ABC	集中水2	5C119	足立 和隆	応用解剖学に関して、解剖学及び機能形態学の知識に基づいた研究の組み立て方、実験の取り組み方等について、基礎的な指導を行うとともに、実際に予備的な実験を行う。これと並行して、自身の修士論文に関連する文献を探索し、先行研究における不備な点、明らかになっていない点、あるいは相反する研究結果を見つけ出し、それらの解決に自身の修士論文がどのように貢献できるか考えさせ、その実践への糸口をつかむ。	教室:5C119(多目的実験・実習室2 解剖) OATP8P1と同一。
01EH251	機能解剖学実験	3	1.0	1・2	春C	集中	5C119	足立 和隆	身体運動の分析法について、以下の実験を行う。 1) Anakin Systemを使用したマーカーを使用しない動作計測法のデモンストレーションと実際にその装置を使用してヒトの動作の計測を行う。 2) 力の測定として、ロードセルを使用した筋力の測定を行う。ロードセルの原理、使用方法についても学習する。 3) 筋電図法の種類と測定時の注意事項について学び、実際に表面電極を使用した筋電図測定を行う。 4) 立位における重心動揺を、フォースプレートを使用して測定する。 5) 歩行分析に関して、動作と床反力の測定を行う。	AT必修科目 教室:5C119 OATP405と同一。 AT必修科目
01EH252	健康体力学特別演習	0	3.0	2	通年	随時		西嶋 尚彦	社会人特別選抜入学者で健康体力学分野の学生の必修科目	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 社会人に限る 14条特例対応科目
01EH257	健康教育学演習II	2	3.0	2	通年	随時		武田 文, 片岡 千恵, 門間 貴史	国内及び国外の健康教育に関する文献資料を購読することを通して、健康教育研究に関する動向を検討し、その理論や研究方法等の理解を深める。また、健康教育に関して、いくつかのトピックを紹介する。さらに、国内外の文献の中から課題を選定し、その報告・発表を行い、全体で議論を深める。本授業は、得られた結果の吟味、考察の論旨・構成等、論文の作成に必要な内容の理解を深め、実践的な能力を育成することを目的とする。本授業は複数指導体制(100 武田 文、441 片岡千恵、519 門間貴史)で行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP8A2と同一。
01EH259	環境保健学演習II	2	3.0	2	通年	随時		本田 靖	スポーツ活動や生活行動への環境の悪影響に関する研究の最前線について考究する。	
01EH261	運動生理学演習II	6	3.0	2	通年	随時		西保 岳, 武政 徹	スポーツ生理学に関するジャーナルに掲載されたテキストや外国の文献資料の輪読・抄読を行い、同時に研究方法などについて基礎的な理解を深める。	
01EH263	運動生化学演習II	6	3.0	2	通年	随時		征矢 英昭, 大森 肇, 岡本 正洋, 松井 崇		
01EH265	運動栄養学演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		麻見 直美	競技力を高めるための、および健康の維持増進のための食事とトレーニング、睡眠(休養)の組み立て方とその実践法について学ぶために、栄養(食生活)、身体活動(運動)・トレーニング、休養(睡眠)をメインkey wordsとし、エネルギー補給法、Female Athlete Triadの予防・改善、貧血予防・改善、からだづくり、熱中症・脱水対策、体力・持久力の向上、食育・食生活改善に関連する実践的研究で、主に英語を使用言語とする最近の総説、原著論文等を精読し、その内容について議論する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP8E2と同一。
01EH266	体力学演習I	2	3.0	1	通年	随時		鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 榎本 靖士, 小野 誠司	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における文献研究、研究計画、研究方法について演習する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH267	体力学演習II	2	3.0	2	通年	随時		木塚 朝博, 鍋倉賢治, 榎本 靖士, 小野 誠司	体育科学に関する内外の学術論文を題材に討議を行い、体力学領域における科学的知見に関わる情報を収集し、文献研究の方法について演習する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。
01EH269	健康増進学演習II	2	3.0	2	通年	随時		大藏 倫博	修士論文作成における当該分野の関連知識と方法論を修得する。学習目標は、健康、体力の維持、増進に及ぼす運動の効果、加齢の影響などに関する国内外の文献を討議し、同時に修士論文の研究手法、内容について理解を深める。第1回~10回は成人を対象とした健康・体力に関する論文抄読、第11回~20回は運動と健康・体力に関する論文抄読、第21回~30回は身体活動と健康・体力に関する論文抄読をおこなう。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP8G2と同一。
01EH270	体育測定評価学演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		西嶋 尚彦	目標:運動能力の研究に関する基礎的および先端的な科学研究の方法を理解し修得する。 授業計画の概要:達成度評価のテスト理論と尺度構成手続きを理解する。運動能力の測定方法を理解する。運動能力の測定モデルの理論を理解する。実技テストで測定できない動作技能や戦術技能を測定対象として、構成概念の測定モデルを想定して、測定項目を構成する。測定を実施する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP8H1と同一。
01EH271	体育測定評価学演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		西嶋 尚彦	目標:運動能力に関する実際の研究データの分析を通して、基礎的および先端的な研究方法を実践する。 授業計画の概要:測定されたデータからデータセットを作成し、データチェックし、欠損値を処理して、記述統計量を分析する。相関行列を算出して、多変量統計解析により、尺度特性を分析する。従属変数と独立変数から、平均値構造から要因の効果を測定する。論文を参照して、方法と結果を記述する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP8H2と同一。
01EH273	内科系スポーツ医学演習II	2	3.0	2	通年	随時		前田 清司, 渡部厚一, 中田 由夫	内科系スポーツ医学領域に関連する修士論文の作成に向けて、当該修士論文の研究に関する関連知識や研究方法論などを学習する。具体的には、修士論文の研究計画、研究の進捗状況、研究結果、研究結果の考察などについてプレゼンテーションを行い、これらについての討議を行う。これらのプロセスを経て、内科系スポーツ医学領域に関連した修士論文を作成することを目標とする。また、研究内容や研究結果などを伝えるプレゼンテーション能力や議論する能力についても身につけることを目指す。	OATP8J2と同一。
01EH275	外科系スポーツ医学演習I	2	3.0	1	通年	随時		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	スポーツ医学(外科系)に関する文献を読み、基礎知識を学び、研究テーマの設定に向け、先行研究論文を読み、まとめる力をつける。	教室:総合研究棟D116 OATP8K1と同一。
01EH276	外科系スポーツ医学演習II	2	3.0	2	通年	随時		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	スポーツ医学(外科系)に関する文献を読み、専門的な知識を学び、修士論文執筆及び学会発表を進めるうえでの実践力を養う。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 OATP8K2と同一。
01EH278	スポーツバイオメカニクス演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		藤井 範久, 小池 関也	修士論文作成に必要な国内外の文献を購読し、修士論文との関連性についてディスカッションする。データの分析結果に関する考察を学会形式で発表し、教員、同じ研究領域の大学院生とディスカッションを行うことで、できる限り客観的な考察を行う能力を身につけることを目標とする。また考察がまとまった段階においては、国内外の学会で研究発表を行い、学外のバイオメカニクス研究者からの意見についても積極的に取り入れるように指導する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP8M2と同一。
01EH279	スポーツバイオメカニクス実験	5	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		藤井 範久, 小池 関也	スポーツバイオメカニクスの研究手法,特に動作分析手法について実習するとともに、データのまとめ方を学習する。	使用機材の関係で、人数を制限することがある。履修登録する前に、担当教員から受講許可をもらうこと。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH281	応用解剖学演習II	2	3.0	2	通年	随時		足立 和隆	「応用解剖学演習I」で得られた知見をもとに、修士論文の研究計画を詳細に決定し、それに従って実験、調査等を行う。また、6月に開催される修士論文の経過報告に対して、論文のまとめ方、プレゼンテーションの仕方について指導を行う。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 OATP8P2と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH283	健康体力学特別演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		西嶋 尚彦	研究成果について議論を深め、修士学位論文を作成する。	年度途中修了予定者のみ履修可 対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH292	コーチング論・トレーニング学演習II	2	3.0	2	通年	随時		前村 公彦, 松元剛, 河合 季信, 谷川 聡, 木内 敦詞	スポーツ・コーチング及びトレーニングに関して、より発展的な内容に関して、内外文献の抄読や実践を行い、研究手法を身につけ論文作成能力を養う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP9A2と同一。
01EH294	スポーツ運動学演習II	2	3.0	2	通年	随時		佐野 淳, 中村 剛	スポーツ運動学演習Iの履修を前提として(内外の文献の講読による専門知識の習得)、毎週、個別に指導を行い、研究論文(修士論文)の構想の練り方、組み立て方、オリジナルな視点の立て方など論文指導を行う。	OATP9B2と同一。
01EH296	体操コーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		長谷川 聖修, 本谷 聡	子どもの体力低下・二極化や超高齢社会の到来など、社会的な諸問題について、国内外の文献・資料を調査し、課題を解決するために有用な体操のプログラムやコーチングに関して論文指導を行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP9C2と同一。
01EH297	身体技法論実習	3	1.0	1	春AB	木5,6	体操場	長谷川 聖修	気功、呼吸法、武術、整体法等における身体技法の基本的技術の習得を目指す。その習得過程を実習ノートと総括レポートに言語化することによって、身体的内感力と反省分析力、及び自己認識力の精錬深化を図る。	O1B9202と同一。
01EH302	コーチング論・トレーニング学演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	月4 月3,4	5C504	前村 公彦, 木内敦詞, 河合 季信, 谷川 聡, 松元 剛	スポーツ・コーチング及びトレーニングに関する内外文献の抄読や実践を通して、研究法などを習得し、科学的知見に基づくコーチング及びトレーニングの在り方を探求する。	教室:体育学系棟A413 OATP9A1と同一。
01EH306	スポーツ運動学演習I	2	3.0	1	春AB 秋AB 秋C	木3 火3 木3,4	5C602	佐野 淳, 中村 剛	演習Iでは以下の内容について専門文献の講読等を通じて学習し、専門的知識を身につける。また、スポーツ運動学の研究方法についての理解度を深める。いずれの教員の授業も、日本語、ドイツ語、また英語の専門文献読み発表し、議論を重ねる、というスタイルで授業をしていく。さらに学生には、常に、現場の目線とは何かについて問い続けていく。	OATP9B1と同一。
01EH309	体操コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	水2 水1,2	体操場	長谷川 聖修, 本谷 聡	体操の運動方法ならびにコーチングに関する内外の文献や資料を題材として、ねらい、対象、運動方法、指導法、評価などについて理解を深めるとともに、討議を通じて、体操コーチングに関する論理的な思考を身に付ける。	教室:A423 OATP9C1と同一。
01EH315	体操競技コーチング論演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		渡辺 良夫, 齋藤 卓	体操競技の男子6種目(ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒)、女子4種目(平均台、跳馬、段違い平行棒、ゆか)について、それぞれの種目の発達史、種目特性、技の体系、技術およびコーチング法、ルール等について、国内外の文献や資料の講読と討議を行い、体操競技の指導者としての専門的知識を身に付ける。資料として、主に、現行採点規則の原語版、ドイツ語圏および英語圏の専門文献、日本国内の研究論文などを用いる。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP9D1と同一。
01EH318	陸上競技コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	木3 金4,5	5C515	大山 卞 圭悟, 木越 清信	陸上競技の技術、トレーニング、指導法の研究について実践し、データ分析、プレゼンテーションについて学ぶ。	OATP9E1と同一。
01EH321	水泳競技コーチング論演習I	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	月4 月3,4	5C402	仙石 泰雄, 角川 隆明, 本間 三和子, 高木 英樹	水泳競技(競泳・水球・シンクロ・飛込み)における競技レベルに応じた技術(各種泳法)、技術トレーニング、体力トレーニング、指導法について、国内外の文献をもとにし、現場におけるコーチングに貢献する研究課題を抽出し、検討する。また、その研究課題を解決する研究方法論について多角的に討議し、修士論文の作成に向けて必要な基礎的知識の獲得を目指す。	OATP9F1と同一。
01EH324	バレーボールコーチング論演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		中西 康己, 秋山 央	国内外の専門文献や研究書を講読し、バレーボールのルールや競技特性、基本的な技術、基本的な個人戦術・グループ戦術・チーム戦術、バレーボール競技者に必要な一般的な体力要素、ケガを予防するためのトレーニング方法、基礎的なゲーム分析の視点とその方法、競技力を定着させるための指導の方法などについて学習する。また、研究方法について学習し、修士論文を作成するための基礎的資質を高める。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP9G1と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH327	バスケットボールコーチング論演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	水2 水1,2	5C503	内山 治樹, 吉田 健司	複雑なバスケットボールの競技特性について言及する最新の内外のスポーツ科学・トレーニング科学等の諸々の知見を援用しながら、バスケットボール競技のコーチングを、(1) 競技力の構造、(2) コーチの思想・倫理論(フィロソフィー、ディシプリン)、(3) チームマネジメント論、(4) 体力論(エネルギー系体力の内実)、(5) トレーニング論Ⅰ(期分け、トレーニング構成)、(6) トレーニング論Ⅱ(最適トレーニング)、(7) 技術・戦術論Ⅰ(基礎技術、個人戦術)、(8) 技術・戦術論Ⅱ(グループ戦術、チーム戦術)、(9) 学習・指導論(練習の多様性、文脈干渉効果)などの多角的視点から検討する。	OATP9H1と同一。
01EH330	ハンドボールコーチング論演習Ⅰ	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		會田 宏, 藤本 元, 山田 永子	国内外における文献の精読を通して、ハンドボールのコーチングに関する基礎理論および応用理論について学習する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。OATP9J1と同一。
01EH333	サッカーコーチング論演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	木3 木3,4	5C513	浅井 武, 中山 雅雄, 小井土 正亮	サッカーコーチに求められる資質である論理的思考とコミュニケーション能力を高めることと、修士論文作成に向けての科学的手法によるサッカーのコーチングに関する問題解決能力を高める。サッカーの指導に必要な具体的な問題を自ら設定し、それに関わる内外の文献資料を広く収集する。そして、自らのテーマに関して口頭で発表し、発言能力を高める。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)OATP9K1と同一。
01EH336	ラグビーコーチング論演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	火2 火3,4		古川 拓生	授業は演習形式とし、ラグビーコーチングに関する様々な文献・映像の検討と討論を通して、基本的な知識の習得と各自の研究課題の明確化を図ることを目的とする。授業はオムニバス方式とし、最初は様々なゲームパフォーマンス分析の手法について学ぶとともに、実際の分析手法を用いてゲーム構造に関する理解を深める。次に分析ツールを利用したデータ収集と解析を行い、パフォーマンスの評価法について学習する。最後に先行研究を元に各自で設定したコーチングやトレーニングに関する課題に対してデータの収集と検討を行い、実践知の習得を図る。	教室:体育学系棟B202(春学期)OATP9M1と同一。
01EH346	柔道コーチング論演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	木2 木1,2	5C401	岡田 弘隆, 増地 克之, 平岡 拓晃	授業は演習形式とし、柔道のコーチングに関する文献・資料を題材として、その現状を討議し、問題点を探りながら基本的な知識の習得と各自の研究課題の明確化を図ることを目的とする。授業はオムニバス方式とし、先行研究を元に各自で設定したコーチングやトレーニングに関する課題に対してデータの収集と検討を行う。	OATP9P1と同一。
01EH349	剣道コーチング論演習Ⅰ	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		香田 郡秀, 鍋山 隆弘, 有田 祐二	研究論文作成のために必要な剣道の試合・審判・形(型)・指導法についての素養を身につける。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。OATP9Q1と同一。
01EH352	弓道コーチング論演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB 秋AB 秋C	水1 水2 水1,2	弓道場	松尾 牧則	弓道に関する文献(古伝書を含む)を読み下し、弓術・弓具・指導法等に関する理解を深める。伝統的弓道とその指導法を理解し、現代における基本的指導のあり方を理解・修得する。弓道における「五射六科」の内容を学習し、その理解と現代的応用方法について考え、論議する。年齢や経験の違う対象者に対する弓道指導の留意点について理解する。安全で効果的に弓道指導を行う上での現代的課題と弓道指導の将来展望を俯瞰できる能力と実践力を養う。	OATP9R1と同一。
01EH354	野外運動論演習Ⅰ	2	3.0	1	秋C 春AB秋ABC	集中 火4	5C502	坂本 昭裕, 渡邊 仁	本授業では、野外運動における自然と文化、人間理解等について、基本的な知識を修得し、理解を深めることを目標に、2名の教員によるオムニバス方式により、授業を実施する。	OATP9S1と同一。
01EH361	舞踊論演習Ⅰ	2	3.0	1	春AB秋AB 秋C	火4 火3,4		平山 素子, 寺山 由美	舞踊(ダンス)分野に関する国内・国外の文献、資料を中心に近年の舞踊論における研究の動向と諸問題について学習するとともに、舞踊論の研究方法論について理解を深める。さらに、研究対象を明確にするための考察を行う。	教室:体育学系棟A415(舞踊作業室)OATP9T1と同一。
01EH364	コーチング学特別演習	0	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		渡辺 良夫	社会人特別選抜入学でコーチング分野の学生の必修科目	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。社会人に限る14条特例対応科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH365	コーチング学特別演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		渡辺 良夫	年度途中に修了するコーチング学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く理解し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論することによって自分自身のテーマを決定し、修士学位論文を作成する。	年度途中修了予定者のみ履修可 OATP9U2と同一。
01EH367	体操競技コーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		渡辺 良夫, 齋藤 卓	体操競技コーチング論の基礎的な理論領域を体系的に理解し、研究法について学習する。体操競技の競技特性、技術、体系論、安全確保と指導法などについての国内外の研究論文を講読し、討議を行うことで専門性を養う。発生運動学における発生分析の方法論と、構造分析論における始原論的分析論、体系的分析論、地平論的分析論を体操競技コーチング論領域で用いるための方法について学習し、修士論文を作成するために必要な専門的知識を養い修士論文を作成する。	体操競技のコーチングわざの伝承 など OATP9D2と同一。
01EH369	陸上競技コーチング論演習II	5	3.0	2	通年	随時		大山 十 圭梧, 木越 清信	陸上競技の技術、トレーニング、指導法の研究について実践し、データ分析、プレゼンテーションについて学ぶ。	
01EH370	柔道コーチング論実習「形」	3	1.0	1・2	春AB 秋C	水1 金1,2	柔道場	増地 克之	柔道の七つの形である(投の形、固の形、柔の形、極の形、講道館護身術、五の形、古式の形)を行う。投の形と固の形は合わせて乱取の形ともいわれ、それぞれ代表的な技15本を学ぶ。柔の形は、柔の理によって、攻撃防御の方法を緩やかな動作で行う。極の形は、真剣勝負の形とも称され、柔道の技法を駆使した実践的な形で、俊敏な体さばきと効果的な極め方を学ぶ。講道館護身術は、新しい時代にふさわしい表現をとり、武器を持って襲いかかる等の諸暴力などを予想し、身を護る最も代表的な防御法について学ぶ。五の形と古式の形は技を離れて表現され、芸術の世界にひたらせる形である。 また、段の取得および形競技大会への参加まで視野に入れ行う。	OATP9P3と同一。
01EH372	水泳競技コーチング論演習II	1	3.0	2	通年	随時		本間 三和子, 高木 英樹, 仙石 泰雄	水泳に関連する内外・海外の文献・資料を題材として討議を行い、水泳の技術、トレーニング、コーチング等の専門的知識を身に付ける。	
01EH374	バレーボールコーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		中西 康己, 秋山 央	国内外の専門文献や研究書を講読し、バレーボールの発達史、応用技術、応用的な個人戦術・グループ戦術・チーム戦術とその発展、バレーボール競技者に必要な特異的体力要素、パフォーマンスを向上させるためのトレーニング方法、分析ソフトを用いた応用的ゲーム分析方法、競技力を向上させるための指導の方法などについて理解を深める。また、バレーボールコーチング論の研究法について理解し、修士論文を作成する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP9G2と同一。
01EH376	バスケットボールコーチング論演習II	4	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		内山 治樹	バスケットボール競技のコーチングに関わる理論知を分析・検討することと併せて、アカデミック・ライティングおよびプレゼンテーションに不可欠な手法を習得し、最終的には修士論文の完成を目指す。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH378	ハンドボールコーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		會田 宏, 山田 永子, 藤本 元	ハンドボールのコーチングに関する研究方法論について学習し、修士論文の作成に必要な知識と技能を養成する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP9J2と同一。
01EH380	サッカーコーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		浅井 武, 中山 雅雄	自らが設定したサッカーのコーチングに関するチームへのアプローチの仕方、研究の進捗について、定期的に発表と討論を繰り返す、各種の文献を読解し専門的理解を深める。研究の実践を通して論文指導をおこなう。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP9K2と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH382	ラグビーコーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		古川 拓生	授業は演習形式とし、ラグビーのコーチングやトレーニングに関する実践を通じ、研究に関する計画および実施上の問題の検討と討議をとおして問題の解決と研究の進展を図ることを目的とする。授業では、各自が設定した研究テーマに対し指導・助言を行い、データ分析やアカデミック・ライティング、プレゼンテーションの力を高め、最終的には修士論文の作成に必要な知識と技能を習得する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP9M2と同一。
01EH383	ラケットバットスポーツコーチング論演習I	2	3.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		川村 卓, 吹田 真士, 奈良 隆章, 三橋 大輔	野球・卓球・テニス・バドミントンなどそれぞれの種目固有の特性を学ぶ。ラケットバットスポーツの歴史・指導方法そして研究に関してその意義と現状との差異に関して集団で討議し、また、発育段階における問題点を明らかにして、体系的な指導方法に関してモデルの構築を行う。それを通じてコーチングと研究遂行する基礎的資質を身に着ける。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP9N1と同一。
01EH384	ラケットバットスポーツコーチング論演習II	2	3.0	2	通年	随時		川村 卓, 吹田 真士, 奈良 隆章, 三橋 大輔	野球・卓球・テニス・バドミントンなどそれぞれの種目固有の特性について理解を深める。ラケットバットスポーツに関して体力・技術・心理などの視点から、さらに戦略・戦術・戦法などの視点から従来の方法にとられないコーチング及び指導法を討議し、修士論文の作成に必要な能力を向上させる。	OATP9N2と同一。
01EH386	柔道コーチング論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		岡田 弘隆, 増地 克之	修士論文の作成に向けて、柔道のコーチングに関する研究方法論について学習し、専門的知識を深め、修士論文の作成に必要な知識と技能を養成することを目的とする。また、データ分析およびプレゼンテーションについて学ぶ。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP9P2と同一。
01EH388	剣道コーチング論演習II	1	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		香田 郡秀, 鍋山 隆弘, 有田 祐二	剣道に関する論文や研究資料を講読し、論文作成のための方法論と関連知識を習得する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH390	弓道コーチング論演習II	7	3.0	2	通年	随時		松尾 牧則	弓道指導に関する古文献、研究論文等により、弓器・弓工に関する理解を深める。伝統的弓道指導法、現代的弓道指導法に関する理解と実践を通して知見を得る。弓道指導法に関する先行研究を理解し、現在の弓道コーチングのあり方、弓道コーチングの将来を展望する。	
01EH392	野外運動論演習II	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		坂本 昭裕, 渡邊 仁	野外運動・野外教育分野における修士論文の作成に向けて、まず、興味関心のある実践や研究について国内外の動向を把握し、自分自身の研究課題を探求する。具体的には、関連する先行研究についてレビューし、研究課題あるいは、テーマの設定を行う。次に、研究・調査を計画し、研究課題を解決するための適切な研究方法論について学習し関連の知識を得る。これらについて、毎回プレゼンテーションを行い、研究を進める上での諸問題について討議する。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP9S2と同一。
01EH393	野外運動論実習	2	2.0	1	春AB 通年	月6 集中	5C502	坂本 昭裕, 渡邊 仁	本時においては、野外教育に関連した外部団体と連携し、野外教育プログラムについて、1)企画・立案、2)実施・運営、3)評価に関与することを通して、総合的に野外教育事業をマネジメントする能力を修得することがねらいである。具体的には、企画では、野外教育事業の対象、目的、プログラム、組織について立案することを実習する。運営では、実地踏査、参加者の募集、参加者への指導を実践する。さらに評価においては、報告書等の作成を通じて振り返りを行う。	OATP9S3と同一。
01EH395	舞踊論演習II	2	3.0	2	通年	随時		寺山 由美, 平山 素子	舞踊論・舞踊教育学分野における修士論文の作成に向けて、国内外の舞踊に関する論文や研究資料を参考に研究動向を把握しながら、論文作成のための方法論と関連知識を身につける。その上で、自らの修士論文の研究課題を選定し、関連する先行研究の検討を行う。さらに、研究目的や研究方法を明確にして研究を進め、修士論文として研究成果をまとめる。また、研究発表の方法やプレゼンテーションの方法も習得し、他者へ自分の考えを伝達する能力を養成する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP9T2と同一。
01EH396	舞踊表現技術実習	3	1.0	1	春AB 秋AB	木4 水2	ダンス場	平山 素子	西洋のダンス文化の象徴であるバレエを中心に取り上げる。後半は、現代的なダンスへの応用なども紹介しながら、ダンサーの表現技術の深さの秘訣を探る。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH401	フェアプレイ論	1	1.0	1・2	秋C	木5,6	5C317	深澤 浩洋	フェアネスの歴史的概観やフェアプレイを奨励する運動を踏まえ、フェアプレイが主張される意味について、複数の価値観、道徳観から考察する。また、フェアプレイを奨励する運動に言及する。実際にフェアプレイに徹するスポーツパーソンを育成するにはどうしたらよいか、どのようにフェアプレイ教育を展開していけばよいかということについて考察し、自分なりの見解を論理的に展開できることを目標とする。毎回あるテーマについて、グループディスカッションを行い、その結果を発表する。 フェアネスの概念、スポーツのルールとエトス、フェアプレイの歴史、フェアプレイをめぐる問題の語られ方(個人と組織)、アンフェアの背景、フェアプレイキャンペーン、フェアプレイ奨励の方策、フェアプレイ教育の構想	OATP110と同一。
01EH403	スポーツイベント文化論	1	1.0	1・2	春C	集中		清水 諭	スポーツイベントとその背景を学び、映像メディアを介した身体の文化政治(人種、民族、ジェンダー、ナショナリティなど)の歴史と現在について考える。	01DR349と同一。
01EH404	オリンピック論	1	1.0	2	春AB	火1	5C316	真田 久	オリンピックの歴史とオリンピック・ムーブメントの動向について学習し、今後のオリンピック・ムーブメントのあり方を模索する	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)
01EH405	武道文化論	1	1.0	1・2	秋AB	水2	5C513	酒井 利信	武道は日本で発祥し、長い歴史の中で宗教や芸能など様々な文化と交流をもちつつ独自の運動文化として成立したものである。そのユニークさゆえに海外ではジャパノロジー(日本学、日本研究)の対象ともなっている。世界で日本人がリーダーシップを取っていける数少ない領域であり、将来国際社会で活躍する者にとって必須の学習課題である。近年、日本刀ブームであるが、刀剣は単なる武器ではなく古来神聖なものとして扱われてきており、実に深淵な思想体系を有している。本講義は、武道文化の中でも刀剣の思想に焦点を当て、最新の研究成果をテキストとし、PBL(Problem Based Learning)方式で学習・議論を重ねていく。	OATP507と同一。
01EH411	体育・スポーツ哲学	1	1.0	1	秋B	集中		深澤 浩洋	体育ならびにスポーツの概念、現状、背景となる思想・社会的状況について洞察する力を養うことを目指す。体育・スポーツ概念の鍵の一つである身体の捉え方や身体を経験をめぐって、体育哲学とスポーツ哲学のそれぞれのスタンスから講義を行う。 スポーツに関しては、身体的契機、知的契機、感性的契機の三契機から、また、体育に関しては、関係性、重層性、超越性という三つの視点から論ずる。 こうした基本的な考え方を踏まえつつ、体育・スポーツに関する現代の特徴を取り上げ、哲学的に考察、ディスカッションする。	OATP102と同一。
01EH412	スポーツ史学	4	1.0	1	秋AB	火2	5C404	大熊 燦雨	人間の歩みの総体である歴史、その歴史に対するより正しい認識と解釈を求め人類が試みてきた様々な方法を学習する。資料を取り扱う諸学問に通じる質的研究方法、とりわけ史学の営みを通して、驚嘆する感性と懐疑する精神を身に付け、現代の体育・スポーツをを意識的に探究する。	
01EH413	武道学	4	1.0	1・2	春AB	水2	5C412	大石 純子	世界に広がりつつある武道文化の諸様相について学ぶ。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。
01EH415	スポーツ産業学	1	1.0	1・2	春AB	木4	5C413	仲澤 眞	レジャー・スポーツ産業を対象に人文・社会科学的な視点から検討し、レジャー・スポーツ産業に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP105と同一。
01EH417	身体文化論	1	1.0	1・2	春C	集中		深澤 浩洋, 大熊 燦雨	伝統文化、体操、体育、スポーツなどを具体的に取り上げながら、文化的社会的に構築される身体と身体観について理解を深める。文化社会学、歴史学、哲学を基礎にしながら領域を越えて議論し、身体文化に対するアプローチを切り開く。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 OATP111と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH421	スポーツ法学		1	1.0	1	秋AB	火3	5C412 齋藤 健司	スポーツに関する基本法令、判例、法制度及び法的諸問題について概説し、スポーツ法学に関する理論、スポーツ法の体系及びスポーツ法政策の基礎知識を学ぶ。 スポーツ法の体系、スポーツ基本法、スポーツ権、スポーツ仲裁法、アンチ・ドーピング法、体育に関する法令、スポーツの知的財産権、スポーツ放送法、プロスポーツ関連法、スポーツビジネス関連法、選手契約などを解説し、議論する。	OATP113と同一。
01EH422	スポーツ行政学		1	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談	成瀬 和弥	行政学の視点から、日本のスポーツを検討し、中央政府や地方政府の組織、制度及び政策などについて、その基礎知識を学ぶ。日本のスポーツ行政過程の構造や機能について理解を深める。また、授業の後半(5回目以降)にはグループディスカッションを行う。グループごとに日本のスポーツ問題を検討し、仮説を設定してその問題を解決するための方策を立案する。グループごとに、その内容を発表し、他のグループとディスカッションを行う。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP114と同一。
01EH423	スポーツビジネス論		4	1.0	1・2	秋AB	木4	5C302 仲澤 眞, 嵯峨 寿, 高橋 義雄	スポーツとビジネスの関係を、主にプロスポーツの運営やスポーツメーカーのブランディング、ツーリズム産業などを事例に、理解を深めていく講義である。	
01EH424	スポーツを通じた開発論		4	1.0	1	春AB	火3	5C413 山口 拓, 佐藤 貴弘	国際社会では複雑な相互依存が深化する世界構造の下で「制度からヒト」へのパラダイム変換が求められている。こうした中、国際開発分野における 1) 地球規模の連携、2) 社会関係資本の構築、或いは3) 国際開発課題の解決・改善・緩和を実現する「道具、乗り物、手段」として「スポーツを通じた開発」或いは「平和と開発のためのスポーツ」の効果が期待され始めている。本講義では、先行研究および事例研究を通じて、「スポーツを通じた開発」の役割と可能性について考察する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。
01EH425	スポーツメディア論		1	1.0	1・2	秋C	集中	清水 諭	現代社会におけるスポーツイベントとメディアの親和性について、その歴史について学習し、映像メディアを介して表象化される人種、ジェンダー、ナショナルリティの諸問題について理解を深める。 1. スポーツイベントの成立構造について、スポーツの組織と連盟、メディア、資本主義企業、そして代理店の関係から説明することができるようにする。 2. 身体パフォーマンスをもとにした集会的想像力と表象、及びその文化政治について例をあげながら説明することができるようにする。 3. 人間とメディアとの関係について、歴史を踏まえて、例をあげながら説明することができるようにする。	OATP117と同一。
01EH426	スポーツ文化・経営政策コース共通実習		2	1.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談	仲澤 眞, 齋藤 健司, 深澤 浩洋	スポーツ文化・経営政策に関連する諸事象について問題発見・課題解決能力の涵養を図り、生きた知識を身につけることを目的とする。各自が選択した担当教員の指導の下、スポーツ関連施設や組織等で行われている活動に触れたり調査を行ったりする。	担当教員の元へ赴き、説明を受け、指導担当教員を決めること。スポーツ文化・経営政策コース必修 OATP118と同一。
01EH427	スポーツ文化・経営政策コースインターンシップ春		3	1.0	1・2	春C 夏季休業中	随時	インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、行政機関、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP131と同一。
01EH428	スポーツ文化・経営政策コースインターンシップ秋		3	1.0	1	秋C 春季休業中	随時	インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、行政機関、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP132と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH431	学校体育経営論	1	1.0	1	秋AB	木5	5C504	清水 紀宏	現在生じている学校体育及びその関連問題についての相互批判的議論を通じて、多角的で俯瞰的な視野をもつと共に、学校体育の総合的な経営理念や経営哲学を鍛える。具体的には、「学校体育における専門性とは何か」「学校体育における教育内容の選択原理は何か」「義務教育における自由化(競争原理の導入)の是非」等の本質的問いについて、ディベート形式の集団討議を通じて議論を深める。そして最終的には、学校体育経営の哲学の根幹となる「学校体育の存在意義」について批判的に考察し、各自の教育改革プランを構想する。	西暦偶数年度開講。 OATP212と同一。
01EH432	地域スポーツ経営論	1	1.0	1・2					地域スポーツをめぐる政策動向とその背景をふまえ、地域スポーツクラブの現代的意義とその組織化の方法論について理解する。まず、地域スポーツ経営領域の特質と固有のミッションを基準としながら、わが国におけるクラブ育成状況やクラブマネジメントの実態を評価する。次に、この現状評価とクラブ理念型との乖離を埋めるクラブの戦略的課題を特定化する。さらに、経営課題を克服するための組織マネジメントの要点を、いくつかのクラブ先進事例から読み解くことで、コミュニティ振興とスポーツ振興の同時達成の方法を解説する。	OATP141と同一。 2020年度開講せず。
01EH433	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		柳沢 和雄	スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	
01EH434	スポーツ社会学	1	1.0	1・2	春AB	月4	5C403	清水 諭	スポーツ社会学に関する研究方法や基本的概念について学習する。スポーツと地域の暮らしや環境問題などについて様々なトピックスなどを取り上げて、社会学の立場から検討し、討議を行っていく。こうした学習活動を通じて、スポーツ社会学に関する理解を深める。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) OATP106と同一。
01EH438	スポーツ政策学	1	1.0	1	春AB	水3	5C616	齋藤 健司, 成瀬和弥, 菊 幸一	スポーツ政策の現状と課題に対する理解を深めるとともに、スポーツ政策学の理論と視座を考える。	manabaを用いて正規の 授業期間に開講する。 OATP107と同一。
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	5C508	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1	春AB	水2	5C317	坂入 洋右	カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 AT必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH471	体育科学習指導論	1	1.0	1	秋AB	月2	5C212	長谷川 悦示	良質な体育授業を実施するために必要な学習指導上の諸条件とそれを具体化していくために必要な教員の資質について模擬授業の立案計画と実施による直接的な実践体験を通して学修する。体育科教育に必要とされる学習指導方略、学習指導過程、学習組織、学習指導モデルなど専門知識と技能について理解を深める。 受講生は複数の授業者グループごとで、授業計画を立案し、教師役・生徒役・観察者を相互に役割分担して模擬授業を実施する。体育授業を分析する方法と授業を省察する能力の向上をねらって、受講者はe-Learningによる授業評価システムを用いてビデオ収録された授業映像を視聴しながら、観察分析データを参照して授業評価・省察を実施し、反省会ではそれをもとに討議する。第1～3回は指導案作成、第4～6回は模擬授業実施。第7回に中間反省会。第8～10回は修正案による模擬授業実施。第11回は最終反省会(最終課題の確認)を実施する。	専修免許の一括申請に必要となる科目。 OATP201と同一。 春学期に受講希望者を対象にガイダンスを行うので、必ず出席するようにしてください。
01EH472	学校健康教育論	1	1.0	1	秋C	集中		片岡 千恵	本授業では、学校における健康および安全の課題について、教育的視点から論じる。具体的には、学校における健康教育の現状と課題について解説するとともに、喫煙防止教育、飲酒防止教育、薬物乱用防止教育、食に関する指導、性に関する指導等を取り上げ、その内容と方法について講義する。また、学校における健康教育の指導者として身に付けるべき資質・能力について概説する。本授業を通して、学校における健康教育の課題、考え方や進め方等について、理解を深めることを目的とする。	各日10:10-18:00 OATP202と同一。 1/9-1/10
01EH473	アダプテッド・スポーツ教育論	1	1.0	1	秋AB	月4	5C508	齊藤 まゆみ、澤江 幸則	特別支援教育におけるアダプテッド・スポーツ教育について、特別支援教育の制度とアダプテッド・スポーツ、障害のある生徒とアダプテッド・スポーツ、インクルーシブ体育とアダプテッド・スポーツ、体育・スポーツにおける支援という視点から講述し、アダプテッド・スポーツの方法について ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health)の概念をもとに説明できること、発達障害のある子どもの実態を複合的に説明でき、発達障害のある子どもの支援に対して多面的にアイデアを出すことができることを目標としている。	OATP203と同一。
01EH477	武道授業指導論	4	1.0	1	春AB	月1	剣道場、柔道場	香田 郡秀、有田 祐二、鍋山 隆弘、岡田 弘隆、増地 克之	学校における武道の指導法について検討し実習する。	教室:武道館 柔道場、剣道場 01B9362と同一。
01EH478	スポーツ心理学	1	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	集中		坂入 洋右	アスリートの心理サポート現場での心理的諸問題の解説ならびに課題への対処方法について概説する。 授業項目:スポーツ心理学(臨床スポーツ心理学)の歴史と概観、心理サポートのアプローチ、スポーツメンタルトレーニングの概要、スポーツカウンセリングの概要、実践と研究、心理臨床学的方法、タレント発掘、青年期におけるスポーツ経験と人格形成、スポーツ傷害と心理(事例中心)、メンタルトレーニング事例、アスリートの相談事例	AT必修科目 OATP214と同一。 AT必修科目
01EH480	保健教材論I	4	1.0	1					保健科教育の教育内容と教材化について講義・演習する。	西暦奇数年度開講。 01B9147と同一。
01EH481	保健教材論II	4	1.0	1	秋C	金1,2	5C212	片岡 千恵	高等学校における保健科教育の教材について分析し、実践的に演習する。	西暦偶数年度開講。 01B9148と同一。
01EH484	野外教育プログラム論	1	1.0	1	春AB	木2	5C618	渡邊 仁	本授業では、野外教育で展開される各種プログラムを多面的に理解し、野外教育プログラムを自ら計画・運営・評価する能力を高めることを目標とする。具体的には、各種プログラムの特徴・目的・指導法・安全管理等について理解を深めるとともに、プログラムの計画や運営する能力を高め、地域の様々な資源(自然環境、地域文化等)を生かしたプログラム開発に取り組む。授業の最終回には、グループワークとして、ある条件を満たした「野外教育プログラム」のプレゼンテーションが課される。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP217と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH486	野外教育指導論	1	1.0	1	春AB	火5	5C618	坂本 昭裕	野外教育プログラムであるキャンプやASE (Action Socialization Experience) 指導の特徴の一つは、グループを指導することにある。本時では、1) キャンプやASEなどのグループカウンセリングの理論と方法について理解すること。2) グループの特徴について体験的に理解すること。3) 自然体験活動を活用したプログラムにおけるカウンセリングの諸課題について理解することが目的である。なお、2) については、野性の森内のASE施設における活動を実際に体験することによって理解を深める。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) OATP218と同一。
01EH487	体育授業観察分析法I	4	1.0	1	秋AB	随時		長谷川 悦示	体育授業の組織的観察法を用い、体育授業を観察、分析する。	01B9107と同一。
01EH488	体育授業観察分析法II	4	1.0	1	秋AB	集中		齊藤 まゆみ, 澤江 幸則	アダプテッド体育の視点をもった授業づくりのための理論を学び、特別支援学校や特別支援教育対象生徒が参加する体育授業を観察評価するとともに教材開発を行う。	アダプテッド体育に関する教材作成、つくりんびっく(12月第2日曜) 01B9108と同一。
01EH489	体力学特講	1	1.0	1・2	春AB	金1	5C407	木塚 朝博, 鍋倉 賢治, 榎本 靖士, 小野 誠司	体力に関する様々な概念や構成要素を復習し、発達加齢段階や各種レベルに応じた測定法、最新の解析法を解説することを通して、運動遊び、エクササイズ、トレーニングなどが、健康体力や競技体力に及ぼす効果について学ぶ。	AT必修科目 manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 01B9422と同一。
01EH490	健康・スポーツ教育コースインターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、学校における授業や部活動、行政機関など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP231と同一。
01EH491	健康・スポーツ教育コースインターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、学校における授業や部活動、行政機関など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP232と同一。
01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	5C307	藤井 直人, 西保 岳, 武政 徹	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード: 重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード: ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目
01EH532	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1	5C308	征矢 英昭, 大森 肇, 岡本 正洋, 松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に着ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書: 脳を鍛えるには運動しかない(NHK 出版)、からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目 OATP303と同一。 AT必修科目
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2	5C508	麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーメールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH545	ヘルスフィットネスコースインターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、地域スポーツクラブ、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP331と同一。
01EH550	健康増進学特講	1	1.0	1・2	春AB	月2	5C302	大藏 倫博	加齢に伴う生活機能の変化と健康との関連に基づき、健康増進(サクセスフルエイジング)に必要なトレーニング法、生活実践法などについて講義する。一般健常者、高齢者、有疾患者に対する運動処方についても講義する。学習目標は、中年期から高齢期までのヘルスプロモーションのあり方および加齢にともなう体力(生活機能)の低下と健康との関連について理解することである。特に、サクセスフルエイジング、元気長寿のための運動プログラム、中年期における体重管理の意義、健康におよぼす運動習慣化の効果、保健指導の問題点と健康支援の重要性、統計データから読み解く高齢者問題、生活機能、身体機能と介護予防の関係、認知機能と介護予防の関係、心理社会機能と介護予防の関係について学ぶ。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OAS0202と同一。
01EH551	体育測定評価学特講(発育発達学を含む)	1	1.0	1・2	春AB	木1	5C317	西嶋 尚彦	目標:運動能力とその発達、体育、運動・スポーツにおける測定学および評価学の基礎的および先端的な研究方法について理解する。専門とする研究分野における基礎的および先端的な実験方法、調査方法における測定方法を理解する。 授業計画の概要:尺度水準と水準ごとの記述統計量、体育評価で用いる達成度評価テストの構成、運動技能の達成度評価、動作技能の達成度評価、戦術技能の達成度評価、構造方程式モデリングを適用した因果関係の測定、実験デザインと分散分析による平均値の差で要因の効果測定する。スポーツビッグデータからプレーの達成度を測定する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 OATP307と同一。
01EH552	ヘルスフィットネス橋渡し研究概論	1	1.0	1	秋AB	月1	5C317	征矢 英昭, 大森 肇, 西保 岳, 武政 徹, 西嶋 尚彦, 鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 小野 誠司, 榎本 靖士, 麻見 直美, 大藏 倫博	ヘルスフィットネス分野における基礎的研究と応用・臨床的研究の関係性および研究をスポーツ実践(現場)や生活・健康に生かすための課題や工夫について解説する。	OATP306と同一。
01EH553	スポーツ生理学実験	3	2.0	1・2	春AB秋AB	金4,5	5C402	西保 岳, 武政 徹	体力診断やスポーツ適性診断に必要なスポーツ生理学的測定法を習得させる。	スポーツ生理学特講の受講者に限る
01EH554	スポーツ生化学実験	3	2.0	1・2	秋AB	火1,2		征矢 英昭, 大森 肇		スポーツ生化学特講の受講者に限る
01EH556	体力学実習	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 小野 誠司, 榎本 靖士	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における研究計画、研究方法、プレゼンテーションについて実習する。	体力学領域の所属学生に限る。教室:5C127 OATP314と同一。
01EH557	健康増進学実習	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		大藏 倫博, 前田 清司	一般健常者、高齢者、有疾患者を対象とした健康指標の検査・測定方法およびトレーニング方法の実際を学習する。学習目標は、中年から高齢者、有疾患者を対象とした健康運動指導法および健康支援法に関する実際を学び、基本的な指導ができるようになることである。	原則として、健康増進学領域の所属学生に限る OATP315と同一。
01EH558	体育測定評価学実習(発育発達学を含む)	3	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		西嶋 尚彦	目標:実験や調査のデータを統計分析して、結果を図表でまとめる。スポーツデータサイエンスのデータ分析手法を適用して、試合のプレー、トレーニング分析などのデータから知見をマイニングする。 授業計画の概要:自分の研究データを用いて、実験デザインおよび調査デザインに適合した統計分析手法を適用し、データを分析する。研究論文を参照して、方法を記述し、結果の図表を作成する。データ分析の手続きに従い、従属変数と独立変数、平均値構造と相関構造、因果関係の分析モデルを理解する。	体育測定評価学特講受講者に限る OATP316と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH559	基礎ヘルスフィットネス演習	3	1.0	1・2	秋AB	水1	5C301	大森 肇, 征矢 英昭, 西保 岳, 武政 徹, 西嶋 尚彦, 鍋 倉 賢治, 木塚 朝博, 小野 誠司, 榎 本 靖士, 麻見 直美, 大蔵 倫博	最新のヘルスフィットネス分野の研究に関する動向を学び、研究デザインの組み立て方や分析方法について修得する。健康体力学分野に所属する教員がオムニバス方式で担当する。	OATP321と同一。
01EH560	ヘルスフィットネスコースインターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、地域スポーツクラブ、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらから1つとする。 OATP332と同一。
01EH561	運動器のしくみと働き(基礎編)	1	1.0	1・2	春AB	火3	5C213	足立 和隆	運動器を構成する骨格、筋、神経系の概要を学ぶ。生物の形態は、その機能と深いかかわりを持っている。地上性の脊椎動物(哺乳類)では、基本的に自身の身体の移動のために最も適した、骨格に基盤とする身体プロポーションをもち、その骨格をその目的(歩行、走行)が効率的に行えるように筋が配置され、また筋の特性もその運動にあっている。歩行、走行以外にも重要な運動があるが、いずれの運動においても関節の構造も大切であり、関節が運動を「制限」することによって目的とした運動が実現されることになる。運動器にはさらに、腱、靭帯も重要な要素としてかかわっている。神経系は、これらの特性も考慮して筋に指令を出している。このようなことがらについて、詳細を解説していく。	AT必修科目 OATP401と同一。 AT必修科目
01EH562	運動器のしくみと働き(応用編)	1	1.0	1・2	秋AB	火3	5C508	足立 和隆	上肢の運動を上肢帯の運動、肩関節、肘関節、手関節における運動、さらに手部における運動に分け、それぞれの運動に関与する筋について、詳細を学習するとともに、これらの関節の詳細も学習する。下肢に関しても同様に、股関節、膝関節、足関節及び足部における運動に関与する筋の詳細を学習し、これらの関節の詳細も学習する。さらに、呼吸運動も含む体幹の運動についても、それに作用する筋について学習する。さらに、身体の総合的な運動である姿勢保持や歩行について、それらの分析法についても学ぶ。	AT必修科目 OATP406と同一。 AT必修科目
01EH563	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	秋B	集中		白木 仁, 竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	AT必修科目 OATP412と同一。 AT必修科目
01EH564	アスレティックコンディショニング論実習	3	1.5	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		竹村 雅裕, 白木 仁, 向井 直樹, 金森 章浩, 福田 崇	競技力向上に関わるスポーツ傷害予防やコンディショニングの方法についてグループで実習を行う。	AT必修科目 対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH565	アスレティックリハビリテーション論実習	3	1.5	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 金森 章浩, 福田 崇		AT必修科目 対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH566	テーピング・マッサージ実習	3	1.5	1・2	秋AB	集中		白木 仁, 竹村 雅裕, 福田 崇	テーピング及びマッサージを実施する上での運動学的、解剖学的、生理学的な基礎知識や方法について解説しながら、実習を行う。	AT必修科目
01EH567	スポーツ医学基礎論実習I	3	1.5	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		前田 清司, 渡部 厚一, 中田 由夫	スポーツ医学(内科系)に関連する実習を行う。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH568	スポーツ医学基礎論実習II	3	1.5	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		白木 仁, 向井 直樹, 竹村 雅裕, 福田 崇	スポーツ傷害に関する基本的な身体の評価方法を学び、実際の研究計画を立てられるようになる。	AT必修科目 対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH572	アスレティックトレーナー演習	2	1.0	1・2	秋C	集中		白木 仁, 竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックトレーナーの組織的将来展望についての知見を習得することを目的として、アスレティックトレーナーとしての役割、資質、養成、教育、競技力への貢献、社会的貢献に関する文献的検討を演習形式で行う。更に、アスレティックトレーナーのアマスポーツ(学校における授業や部活動、地域スポーツクラブなど)での役割、プロスポーツ(ナショナルレベル、インターナショナルレベル)での役割に関する文献的検討も行う。	AT必修科目 OATP419と同一。 AT必修科目
01EH573	スポーツ内科学特講	1	2.0	1・2	秋C	集中		渡部 厚一, 向井 直樹	スポーツ現場で頻繁に認められる内科的疾患について、診断・治療・予防法の概要を解説するとともに、スポーツ種目別の特徴、ヘルスプロモーションの視点としてのチームマネジメントとの関連性について事例を挙げ、ディスカッションを行う。具体的テーマとして、心臓突然死とメディカルチェック、スポーツ貧血、運動誘発喘息とアナフィラキシー、インフルエンザやノロウイルス等の感染症対策、過換気症候群、熱中症と低体温症、内科的コンディション評価とオーバートレーニングなどを取り上げる。	AT必修科目 西暦偶数年度開講。 OATP414と同一。 AT必修科目
01EH576	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	5C513	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクスの側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法を解説する。	AT必修科目 01B9383と同一。
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	5C406	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	Zoomなどリアルタイム 双方向サービスを用いて 正規の授業期間に開講する (manabaの併用を含む) OATP403と同一。
01EH579	アスレティックコンディショニングコース インターンシップ春	3	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ 担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、医療機関、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、 春または秋のどちらか 1つとする。 OATP431と同一。
01EH580	アスレティックコンディショニングコース インターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ 担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、医療機関、スポーツや健康に関連する企業や研究所など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、 春または秋のどちらか 1つとする。 OATP432と同一。
01EH604	コーチングのバイオメカニクス	1	1.0	1・2	秋AB	月3	5C513	榎本 靖士, 藤井 範久	スポーツの技術やトレーニングを考えるための基礎となるバイオメカニクスの諸原則、動作の改善ループの考え方とその応用法、バイオメカニクスデータの解釈などについて解説し、これらの知識を動作の改善に活用するための基礎的能力を身につけることを学習目標とする。具体的には、スポーツ技術のバイオメカニクスのとらえ方、力学的エネルギー・効率・有効性指数の算出法の解説、選手の動きを評価・診断・改善するためのバイオメカニクスの知識の重要性の解説などを通して、客観的知識を基礎とするコーチングについて学習させる。	OATP501と同一。
01EH621	トレーニング学	7	2.0	1	春AB秋AB	木1	5C407	谷川 聡, 前村 公彦	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	AT必修科目 Zoomなど リアルタイム双方向 サービスを用いて正規 の授業期間に開講する (manabaの併用を含む)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH622	コーチング論(事例討議)	1	1.0	1	秋AB	月5	5C307	前村 公彦, 河合季信	コーチには、当該スポーツ競技/種目の技術・戦術、トレーニングの指導だけでなく、トレーニング環境を整備したり、多様なステークホルダーと連携し目標を達成していくための能力も求められる。また、その前提となる「コーチング哲学」をどのように構築するかも重要である。本講義では、コーチング現場で活躍中のコーチを招いて、コーチング実践の場における現状と課題を知り、それらをもとに学生相互で討議することによって将来のコーチングに資する実践知の獲得をめざす。	OATP503と同一。
01EH623	スポーツ運動学	1	1.0	1	春AB	木2	5C508	佐野 淳	発生運動学としてのスポーツ運動学の学問成立の経緯、基本概念、運動の分析法を講義して、運動の実践現場および研究においてもつスポーツ運動学の意義、価値の理解を深める。具体的には、体育・スポーツ領域において使われている運動の概念についての整理、運動をケンジュタルト(運動ケンジュタルト)として認識することの重要性、現場において取り上げられる動きの質の問題、実際の動きを取り上げる際に重要になる生命的な時空間の問題、そして、「できる」ということを考える際に不可欠な身体知の問題、その「できる」を支える「動感」の問題、動きの意味と価値の問題、スポーツ運動学と現象学の関係、などについて講義する。	AT必修科目 OATP506と同一。 AT必修科目
01EH624	身体技法論	5	1.0	1	秋AB	月4	第1多目的道場	長谷川 聖修	気功、呼吸法、武術、整体法、体操、ボディワーク等の身体技法について概観し、それらと体育やスポーツとの関係や意味について、個々の身体技法を具体的に確認しながら論じてゆく。	教室:武道館第1多目的道場 01B9197と同一。
01EH625	身体表現論	1	1.0	1・2	春AB	火2	5C307	寺山 由美	<私>にとって身体とは何かを問うことを通じて、「身体表現」について考察する。自らの「身体表現」と他者の「身体表現」の違いを捉え、私たちがどのようにコミュニケーションを成立させているのかを検討する。特に、ダンスの場面における事例を取り上げ、「身体表現」の特性について考える。また、身体を持つ力に着目し、「身体表現」という括りでダンスとスポーツを捉えることで、体育・スポーツ学を多角的に検討することを試みる。	教室:体育学系棟A415(舞踊作業室) OATP505と同一。
01EH636	野外教育実習(キャンプ)	3	1.5	1	夏季休業中	集中		坂本 昭裕, 渡邊仁	代表的な野外教育の形態である組織キャンプについて、自らその教育的価値を体験しながら、基本的な計画・運営・評価の方法を実践的に学習する。	
01EH643	体操コーチング総合演習	6	1.0	1	春AB	金3	体操場	長谷川 聖修, 本谷聡	体操についての国内外の映像資料や文献を参考にしながら、その現状を討議し、問題点を探る。また、体操に関する指導方法や研究方法についても学習する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01B9187と同一。
01EH644	体操競技コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	金3	体操競技場	金谷 麻理子	体操競技における技術のとらえ方および指導方法について、運動の学習プロセスの体験を通して学習する。	01B9212と同一。
01EH645	陸上競技コーチング総合演習	5	1.0	1	春AB	金5	5C411	大山 卡 圭悟, 木越 清信	陸上競技フィールド種目の技術特性、指導法やトレーニング法について概説する。	01B9222と同一。
01EH646	水泳競技コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	木3	屋内プール	仙石 泰雄	水泳競技に関わる科学的データを収集し、データの分析および客観的な解釈方法を学習する。	01B9237と同一。
01EH647	バレーボールコーチング総合演習	5	1.0	1	秋AB	木3	5C514	中西 康己, 秋山央	バレーボールの競技特性、技術、戦術、指導法について概説する。	01B9247と同一。
01EH648	バスケットボールコーチング総合演習	1	1.0	1・2	春AB	木3	5C504	内山 治樹	バスケットボールの特性、ルールと技術の関係、基礎的技術からゲームまでのコーチングの方法を検討する。	01B9262と同一。
01EH649	ハンドボールコーチング総合演習	6	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		會田 宏, 藤本 元, 山田 永子	ハンドボールのコーチング実践に必要な理論の学習とコーチング実践活動を通して、さまざまな問題に対処できる専門的な指導力を身につける。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCIに集中などで開設する(応談)。 01B9277と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH650	サッカーコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	金4	5C513	中山 雅雄	演習形式でサッカーのコーチングに関わる理論の理解を深めると同時に、コーチングの実践を通してサッカーコーチとしての能力を高める。授業の前半は主に講義形式で「サッカーの構造」「プレーの原則」「タレント発掘」「サッカーのコーチング」等について整理する。その後、各自でコーチングプランを作成し、受講者間でそのプランを洗練する作業をおこなう。後半ではそのプランに基づきコーチング実践と省察によって自身のコーチング能力を改善する。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP517と同一。
01EH651	ラグビーコーチング総合演習	4	1.0	1	春AB	木3	5C402	嶋崎 達也	ラグビーのコーチングに関わる幾つかのトピックスについて講義及び演習を行う。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) 01B9312と同一。
01EH652	テニスコーチング総合演習	6	1.0	1	秋C	水1,2	5C413	三橋 大輔	ストローク、ボレー、サービス動作の技術指導のあり方を検討する。	01B9327と同一。
01EH653	バドミントンコーチング総合演習	6	1.0	1	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		吹田 真士	バドミントン競技の研究・指導に関する実習およびバドミントン競技能力を高めるための実習を行う。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。
01EH654	野球コーチング総合演習	6	1.0	1	春AB	火4	5C412	川村 卓, 奈良 隆章	野球のコーチングを多角的視点から講義を行う。	専門的な内容になるので、野球経験者に限る。 01B9337と同一。
01EH655	柔道コーチング総合演習	3	1.0	1	春AB	火4	柔道場	岡田 弘隆, 増地 克之	柔道の指導法を中心に実技、理論を検討する。	01B9347と同一。
01EH656	剣道コーチング総合演習	3	1.0	1	秋AB	金4	5C502	香田 郡秀, 鍋山 隆弘, 有田 祐二	剣道の試合審判規則について学習し、審判の理論と実践能力を高める。	01B9367と同一。
01EH657	弓道コーチング総合演習	6	1.0	1	秋AB	火3	弓道場	松尾 牧則	伝統的運動文化としての「弓道」の特性を理解するとともに、弓道指導における基礎基本となる「基本体(基本の姿勢・基本の動作)」「射法八節」についてその理論学習と実践を通じて弓道コーチングの実際を学習する。「基本の姿勢」「基本の動作」「射法八節」正しく身につけ、指導においても示範ができるようにする。また、対象に応じた指導法を理解し、安全かつ効果的に学習できる指導法を理解・習得する。	
01EH658	舞踊指導総合演習	6	1.0	1	秋AB	金4	ダンス場	寺山 由美	舞踊(ダンス)教育における内容の中でも表現・創作ダンス(モダンダンス)とリズム系ダンスを中心に、各々の特性と技法、指導法、上演に関する理解を深めるとともに、実習を通して基礎的、応用的な能力を養う。舞踊における身体、イメージ、リズム、動きの関係について、多様なテーマ(課題)から即興的に表現・創作するとともに、舞台に向けたダンス作品を創作、上演する。	01B9177と同一。
01EH659	スポーツコーチング総合演習	2	1.0	1	春AB	火4	5C504	前村 公彦, 松元 剛, 河合 季信, 谷川 聡, 木内 敦詞	個別研究領域に含まれていないスポーツ競技/種目を専門とする学生を対象に、種目横断的にその指導法についての理論や指導実践を学び、望ましいコーチング及びトレーニングの在り方を探求する。各教員の専門スポーツ競技/種目におけるコーチング実践の知、またその背景となる科学的知見を手がかりにして、自身の専門スポーツ競技/種目における先行研究の調査、コーチング実践などを行う。	研究領域に含まれているスポーツ種目を専門とする学生は、受講できない。 OATP526と同一。
01EH660	コーチングコースインターンシップ春	0	1.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	学内外のスポーツ団体、学校における授業や部活動、スポーツ関連企業、研究所などにおいて計画書に基づいて実習し、通常の教育課程では学ぶことのできない高度な実践的経験、知識を得る。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。manabaを用いて夏季休業中に開講する。
01EH664	舞踊授業指導論	1	1.0	1	秋AB	火2		寺山 由美	体育授業としての舞踊(ダンス)の授業(学習指導)における理論と実践方法について関連する文献と実践事例を基に検討するとともに、主な学習内容(創作系、リズム系、フォークダンス系)の特性を踏まえた指導計画を作成し検討していく。ダンスの特性、学習内容、指導計画、指導言語、学習評価などに着目し、舞踊の授業指導への理解を深める。それらの知見を基に、学習者と指導者の関係性から授業をどのように創造していくのかを検討する。	教室:体育学系棟A415(舞踊作業室) 西暦偶数年度開講。 OATP242と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH673	コーチングコースインターンシップ秋	3	1.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	秋学期から春季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、プロスポーツクラブ、学校における授業や部活動、スポーツ施設など)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP531と同一。
01EH676	競技マネジメント論	1	1.0	1	秋A	集中		尾縣 貢, 山口 香, 高橋 義雄	国内外のスポーツ競技団体、スポーツリーグ組織、スポーツクラブ・チームを対象にマネジメントの視点から検討し、スポーツ関係組織・機構の経営に関する基本的な知見を学習するとともに、当該領域における当面の問題を明らかにし、基本的研究課題を理解する。	教室:5C108 OATP540と同一。 10/17, 11/7
01EH677	舞踊上演マネジメント論	1	1.0	1	春AB	水2	5C618	平山 素子	舞踊公演やイベントの企画・運営を取り扱い、過去に行われた舞踊公演の例に、実情や問題点を検証する。また、現在、活発に行われている舞踊公演の仕組みや、様々な形態のイベントについて学ぶ。さらに、独自のイベントを企画・運営するための知識として、イベントに関わる経済的問題、様々な助成制度とその活用方法を学ぶ。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む) OATP541と同一。
01EH678	スポーツ情報戦略論	4	1.0	1	秋AB	火5	5C307	河合 季信	主として競技スポーツで扱われる情報について、戦略的に収集、統合、加工、活用し、目的を達成するための過程について学ぶ。	
01EH710	プログラム特別インターンシップ春	3	3.0	1・2	春C夏季休業中	随時		インターンシップ担当教員	春学期から夏季休業期間にかけて、スポーツや健康に関連する様々な組織(例えば、日本代表、プロスポーツクラブ、地域スポーツクラブなど)において、事前の学習計画に基づいて現場で実習を行う。このインターンシップによって、通常の教育課程では学ぶことのできない高度で実践的な経験を積むことができ、より専門的な知識やスキルを学び、社会で実践できる能力を養う。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。 OATP631と同一。
01EH711	プログラム特別インターンシップ秋	0	3.0	1	秋C春季休業中	随時		インターンシップ担当教員	学内外のスポーツ団体、学校における授業や部活動、スポーツ関連企業、研究所などにおいて計画書に基づいて実習し、通常の教育課程では学ぶことのできない高度な実践的経験、知識を得る。	同一コースの履修は、春または秋のどちらか1つとする。
01EH712	高度スポーツ指導者の英語会話	2	3.0	1	秋C 春AB秋ABC	集中 木3	5C604			
01EH713	高度スポーツ指導者の実践英語演習	2	1.0	2	春C	集中		田部井 祐介	To plan and conduct sport activities in English during Tsukuba Summer Institute and other events	
01EH714	日本文化論(宗教、思想、古典芸能など)	1	1.0	1	通年	集中		酒井 利信, 鹿島 則良	スポーツ界のリーダーとして世界で活躍するためには、グローバル化社会における自文化のオリジナリティを自覚することも必要である。こうした考えのもと、日本文化論として宗教、思想、古典芸能などをとり上げ、フィールドワークも含めつつ学習し、日本文化の粋を理解する。	
01EH715	コーチング特別課題研究I(設計)	2	3.0	1	春AB秋ABC	月1 月1, 2		中山 雅雄	それぞれの専門種目において、国をリードする監督やコーチとなり、将来的には統括組織での指導的役割を担う人材を養成を目的とするナショナルリーディングコーチ系列の科目である。自らのトップレベルの競技経験から導き出された課題をいかに科学的に研究するかについての方法論を中心に指導する。	manabaを用いて正規の授業期間に開講する。 OATP9V1と同一。
01EH716	コーチング特別課題研究II(展開とまとめ)	2	3.0	2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		香田 郡秀, 内山 治樹, 本間 三和子, 岡田 弘隆	それぞれの専門種目において、国をリードする監督やコーチとなり、将来的には統括組織での指導的役割を担う人材を養成を目的とするナショナルリーディングコーチ系列の科目である。自らのトップレベルの競技経験から導き出された課題を科学的方法論に従いながら分析し、それらを論文としてまとめる。	対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。 OATP9V2と同一。
01EH720	大学体育教育論	1	1.0	1・2	春C	集中	5C616	木内 敦詞, 高木 英樹, 白木 仁, 鍋倉 賢治, 坂本 昭裕, 長谷川 悦示	体育を専攻しない大学生への体育授業や運動部活動のあり方を考えることは、将来の大学体育教員をめざす大学院生へ向けたキャリア教育ともいえる。これらを踏まえ、本授業では、大学生のための教養体育授業や運動部活動に焦点をあて、それらを体系的・多面的に学ぶ。	Zoomなどリアルタイム双方向サービスを用いて正規の授業期間に開講する(manabaの併用を含む)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH751	アダプテッド体育・スポーツ指導理論実習	7	2.0	1・2	秋A 秋B 秋C 夏季休業中	応談		松原 豊, 杉山 文乃		アダプテッド体育・スポーツ学演習Iを履修済みの者に限る。対面式授業など従来の形式で夏季休業中・秋ABCに集中などで開設する(応談)。